

大垣市地域公共交通網形成計画

各種調査結果報告書

（速報版）

1. 住民アンケート調査.....	1
2. バス停利用者ヒアリング調査.....	47
3. 事業所アンケート調査.....	61

1. 住民アンケート調査

1.1 調査概要

(1) 調査目的

- ・住民の移動実態、潜在的な公共交通利用意向（利用したくてもサービスの問題で利用できていない人がいないかどうか）を把握

(2) 調査対象

- ・大垣地域、墨俣地域の世帯

(3) 調査方法

- ・郵送配布、郵送回収
- ・世帯主宛に調査票を発送し、全ての世帯が回答する設問に加え、特定の方（65歳以上、通学者（高校生以上）、通勤者）がいる世帯のみが回答する設問を設定

(4) 調査期間

- ・配布：令和元年 7月31日（水）
- ・締切：令和元年 8月31日（土）

(5) 配布回収状況

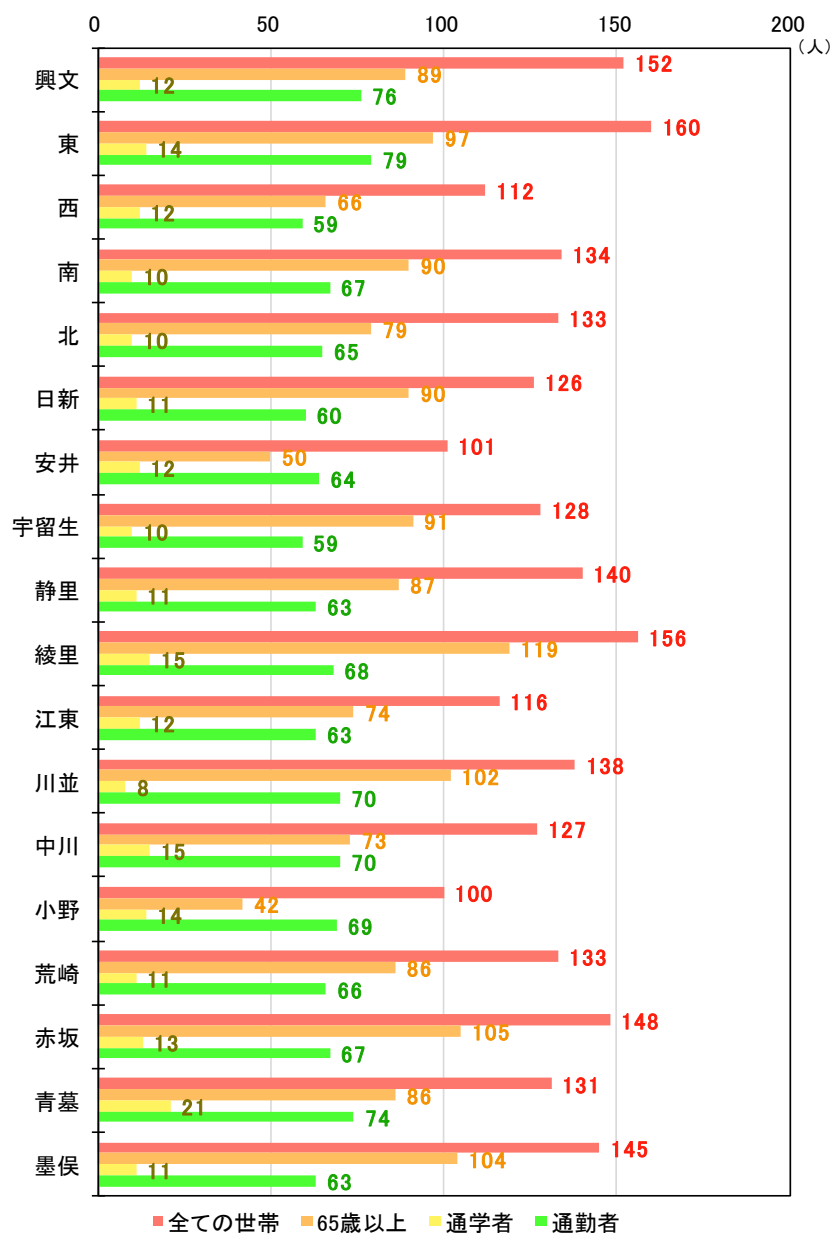
- ・配布数：5,400票 目標回収数：1,800票（回収率33%想定）
- ・回収数：2,445票
- ・回収率：45.3%

図表 1－1 配布回収状況

	配布数	回収数	回収率
全体	5,400	2,445	45.3%
興文	300	152	50.7%
東	300	160	53.3%
西	300	112	37.3%
南	300	134	44.7%
北	300	133	44.3%
日新	300	126	42.0%
安井	300	101	33.7%
宇留生	300	128	42.7%
静里	300	140	46.7%
綾里	300	156	52.0%
江東	300	116	38.7%
川並	300	138	46.0%
中川	300	127	42.3%
小野	300	100	33.3%
荒崎	300	133	44.3%
赤坂	300	148	49.3%
青墓	300	131	43.7%
墨俣	300	145	48.3%
小学校区不明		65	

図表 1－2 小学校区別の回答状況

	回答数				割合		
	全ての世帯	65歳以上	通学者	通勤者	65歳以上	通学者	通勤者
全体	2,445	1,583	222	1,222	65%	9%	50%
興文	152	89	12	76	59%	8%	50%
東	160	97	14	79	61%	9%	49%
西	112	66	12	59	59%	11%	53%
南	134	90	10	67	67%	7%	50%
北	133	79	10	65	59%	8%	49%
日新	126	90	11	60	71%	9%	48%
安井	101	50	12	64	50%	12%	63%
宇留生	128	91	10	59	71%	8%	46%
静里	140	87	11	63	62%	8%	45%
綾里	156	119	15	68	76%	10%	44%
江東	116	74	12	63	64%	10%	54%
川並	138	102	8	70	74%	6%	51%
中川	127	73	15	70	57%	12%	55%
小野	100	42	14	69	42%	14%	69%
荒崎	133	86	11	66	65%	8%	50%
赤坂	148	105	13	67	71%	9%	45%
青墓	131	86	21	74	66%	16%	56%
墨俣	145	104	11	63	72%	8%	43%



1.2 調査結果（対象：全ての世帯の方）

（1）属性

①世帯構成

- ・親と子が38%と最も高く、次いで夫婦が25%となっており、核家族世帯の割合が高い。

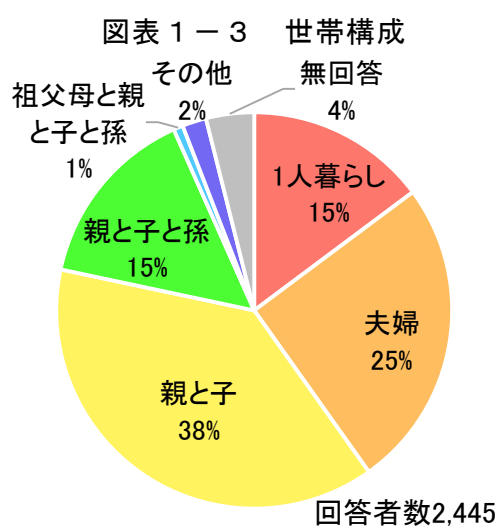
②高齢者の有無

- ・高齢者のみの世帯は43%、高齢者がいる世帯は22%であり、これらを合わせると高齢者がいる世帯は65%となっている。

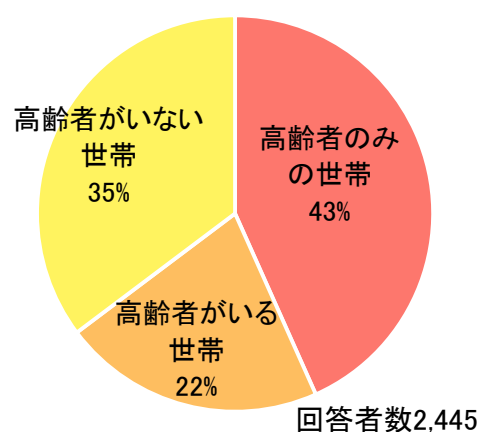
※本調査における高齢者の定義：65歳以上

③通勤者・通学者の有無

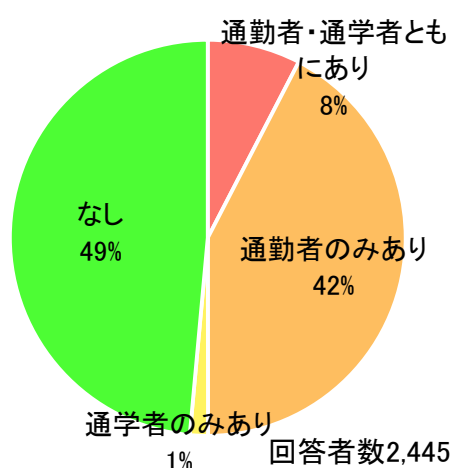
- ・通勤者も通学者もいない世帯が49%と最も高く、次いで通勤者のみの世帯が42%となっている。



図表 1－4 高齢者の有無



図表 1－5 通勤者・通学者の有無

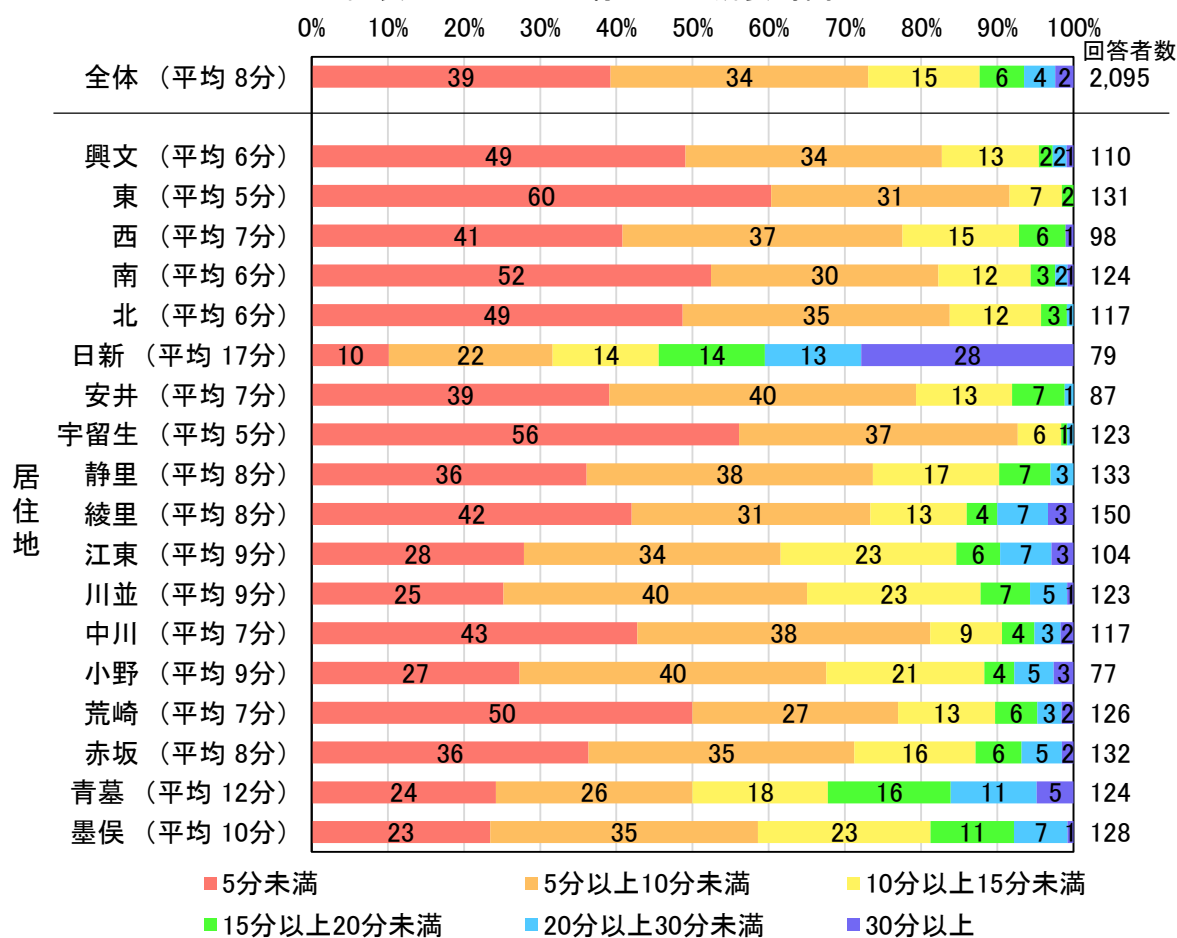


(2) 最寄りのバス停（よく利用するバス停）までの所要時間

- ・東は5分未満が60%となっており、その他の小学校区と比較して高くなっている。
- ・日新は5分未満が10%とその他の小学校区と比較して低くなっている。※日新にあるバス停はイオンモール大垣のみ

- ・所要時間の平均をみると、全体で平均8分となっている。
- ・最も所要時間が短いのは東の平均5分で、最も所要時間が長いのは日新の平均17分となっている。

図表 1－6 バス停までの所要時間



※居住地別の平均＝居住地別の回答者の所要時間の合計÷居住地別の回答者数

※無回答は除く

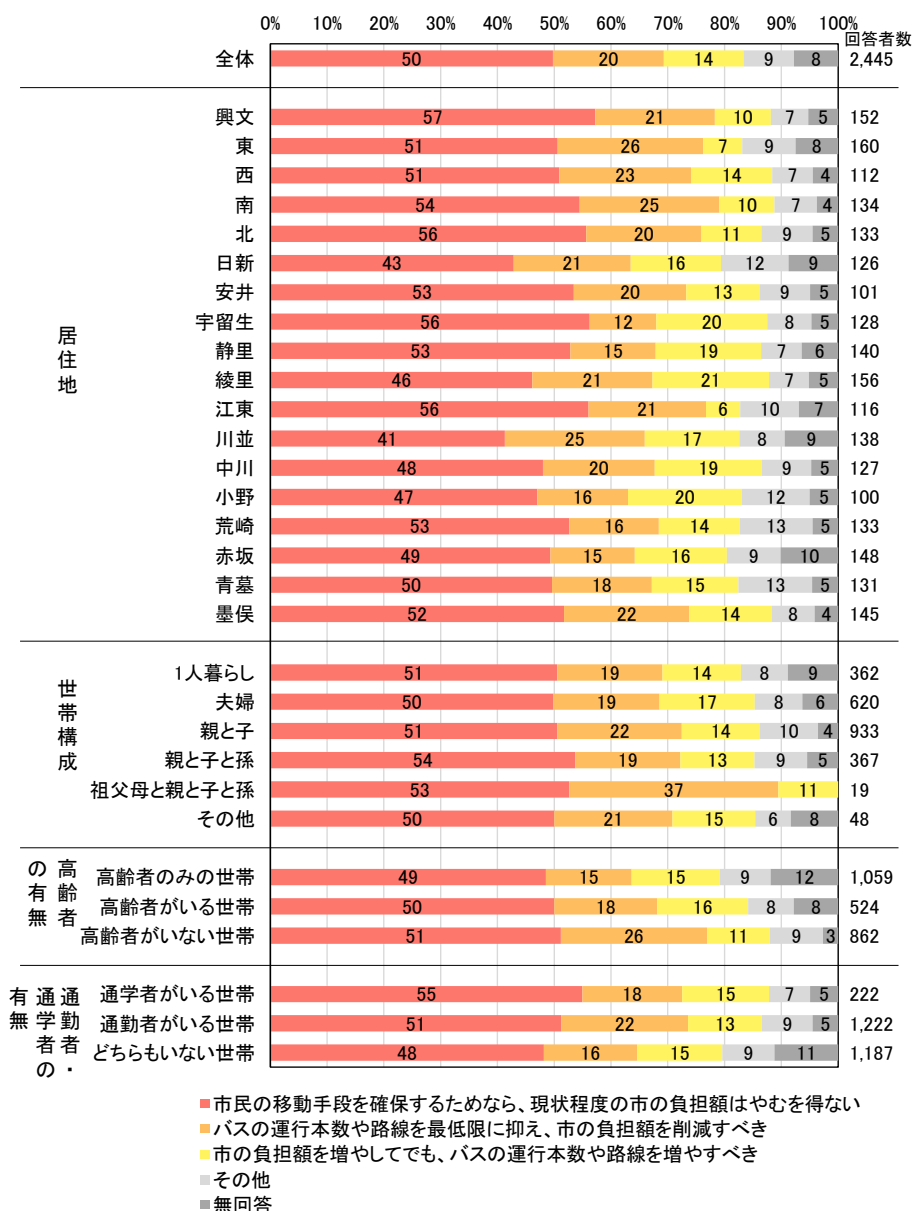
(3) 路線バスに対する費用負担についての考え

2. 大垣市の路線バスに対する費用負担について、あなたやあなたのご家族の考えをおしえてください。(1つに○)

1. 市民の移動手段を確保するためなら、現状程度の市の負担額はやむを得ない
2. バスの運行本数や路線を最低限に抑え、市の負担額を削減すべき
3. 市の負担額を増やしてでも、バスの運行本数や路線を増やすべき
4. その他

- ・全体では、「市民の移動手段を確保するためなら、現状程度の市の負担額はやむを得ない」が50%と最も高く、次いで「バスの運行本数や路線を最低限に抑え、市の負担額を削減すべき」が20%、「市の負担額を増やしてでも、バスの運行本数や路線を増やすべき」が14%となっている。
- ・居住地別にみると、東、南、川並は「負担額を削減すべき」が25～26%とその他の居住地と比較して高くなっており、宇留生、綾里、小野は「運行本数や路線を増やすべき」が20～21%とその他の居住地と比較して高くなっている。

図表 1-7 路線バスに対する費用負担についての考え



1.3 調査結果（対象：65歳以上の方）

（1）属性

①性別

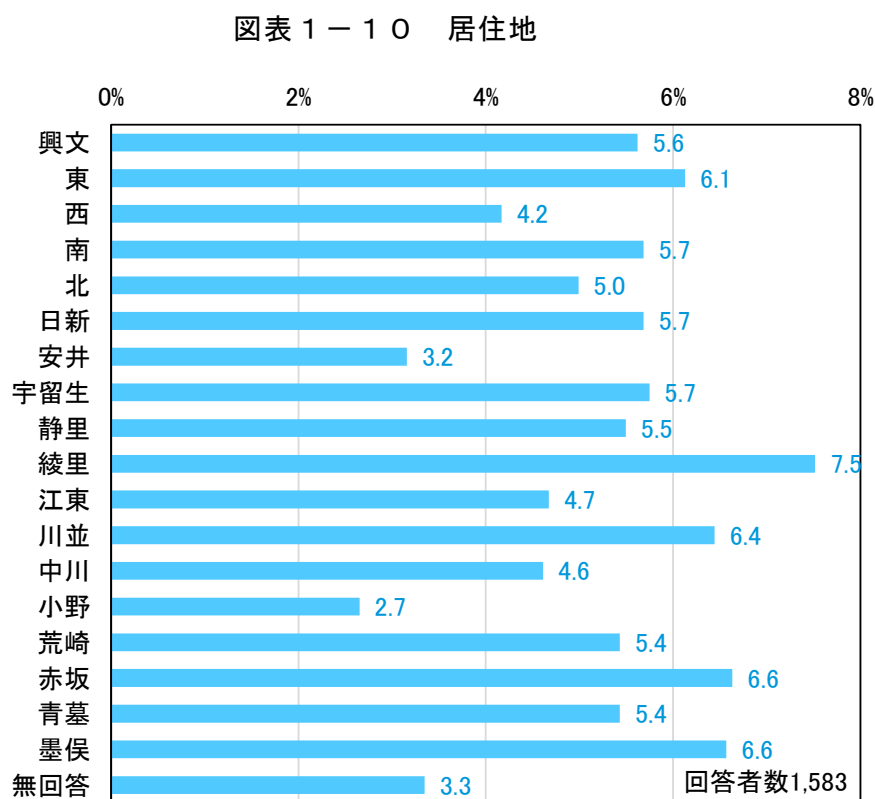
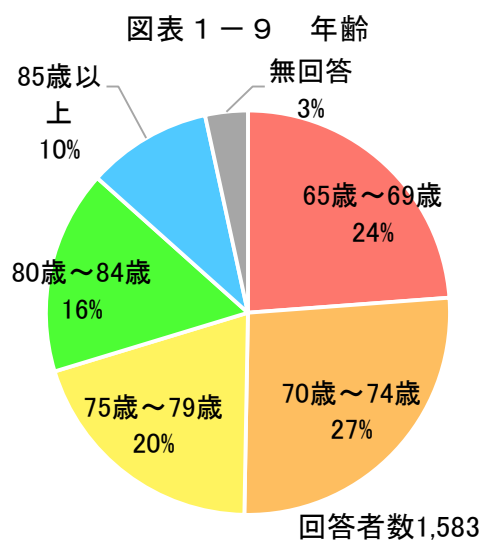
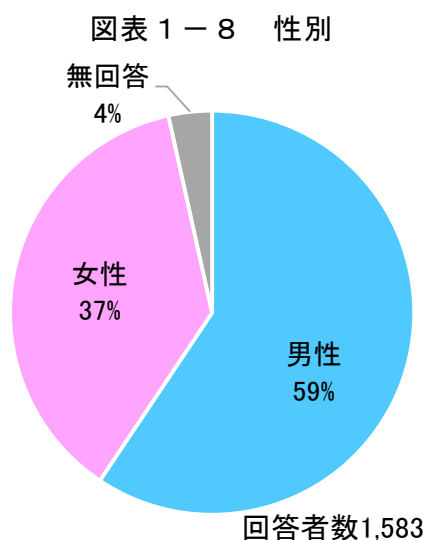
・男性が59%、女性が37%となっている。

②年齢

・70歳～74歳が27%と最も高く、次いで65歳～69歳が24%、75歳～79歳が20%となっている。

③居住地

・静里が7.5%と最も高く、次いで赤坂、墨俣が6.6%となっている。



(2) 日常の移動

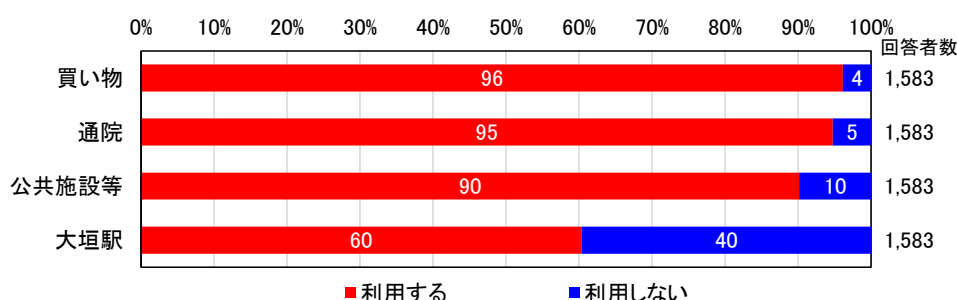
3-1. あなたがよく利用する施設等をおしえてください。また、それぞれの施設等へ行く頻度、交通手段をおしえてください。

目的地		頻度（1つに○）	交通手段（あてはまるものすべてに○）
買い物	具体的施設名を記入 （例）〇〇スーパー△△店 	1. 週4日以上 2. 週2～3日 3. 週1日 4. 月1～3日 5. 月1日未満 6. 利用しない	1. 自家用車（自分で運転） 2. 自家用車（家族等の送迎） 3. バイク・原付 4. 自転車 5. 徒歩 6. 路線バス 7. 高速バス 8. タクシー 9. 鉄道 10. その他（ ）
通院	具体的施設名を記入 	1. 週4日以上 2. 週2～3日 3. 週1日 4. 月1～3日 5. 月1日未満 6. 利用しない	1. 自家用車（自分で運転） 2. 自家用車（家族等の送迎） 3. バイク・原付 4. 自転車 5. 徒歩 6. 路線バス 7. 高速バス 8. タクシー 9. 鉄道 10. その他（ ）
公共施設等 ※銀行や農協等を含む	具体的施設名を記入 	1. 週4日以上 2. 週2～3日 3. 週1日 4. 月1～3日 5. 月1日未満 6. 利用しない	1. 自家用車（自分で運転） 2. 自家用車（家族等の送迎） 3. バイク・原付 4. 自転車 5. 徒歩 6. 路線バス 7. 高速バス 8. タクシー 9. 鉄道 10. その他（ ）
大垣駅 （JR、養老線、樽見線） ※市外へ出かけるための経由地として		1. 週4日以上 2. 週2～3日 3. 週1日 4. 月1～3日 5. 月1日未満 6. 利用しない	1. 自家用車（自分で運転） 2. 自家用車（家族等の送迎） 3. バイク・原付 4. 自転車 5. 徒歩 6. 路線バス 7. タクシー 8. その他（ ）

①移動の有無

- ・普段、買い物する人は96%、通院する人は95%、公共施設等を利用する人は90%、大垣駅を利用する人は60%となっている。

図表 1－1 1 目的別の移動の状況



②出かける頻度と交通手段

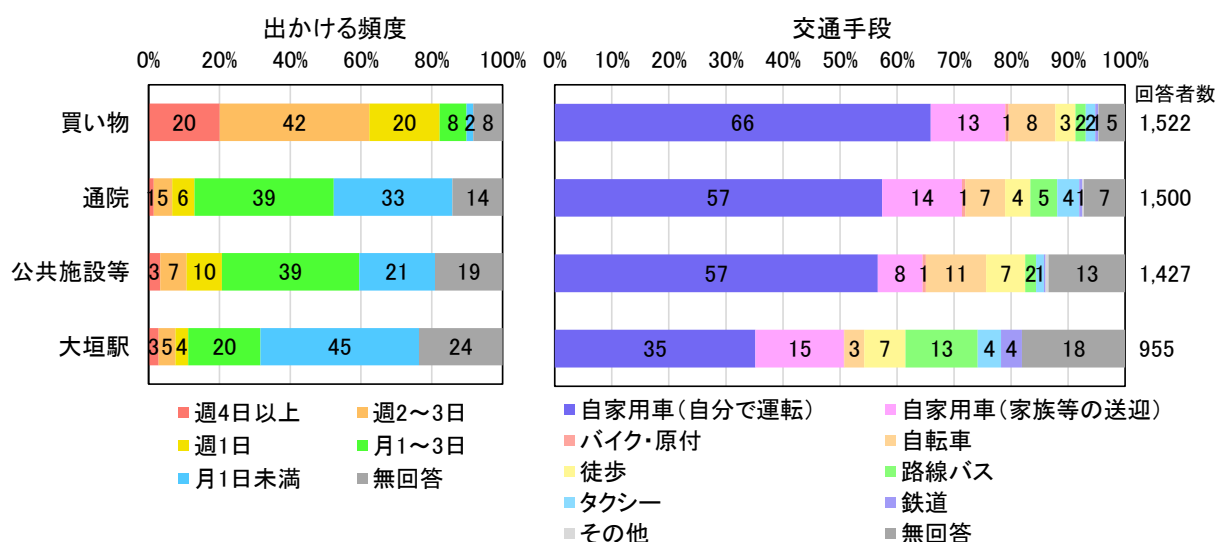
(出かける頻度)

- ・買い物では週2～3日が42%と最も高くなっている。また、週1日以上（週4日以上、週2～3日、週1日の合計）が82%となっており、その他の目的と比較して高くなっている。
- ・通院および公共施設等では月1～3日が39%と最も高くなっている。
- ・大垣駅では月1日未満が45%と最も高くなっている。

(交通手段)

- ・すべての目的において、自家用車（自分で運転）が高くなっており、買い物は66%、通院および公共施設等は57%、大垣駅は35%となっている。
- ・大垣駅までは路線バスが13%となっており、その他の目的と比較して高くなっている。
- ・大垣駅までは鉄道を利用している人が4%となっており、その人たちはJR美濃赤坂線や養老線を利用して大垣駅まで移動している。

図表 1－1 2 出かける頻度と交通手段

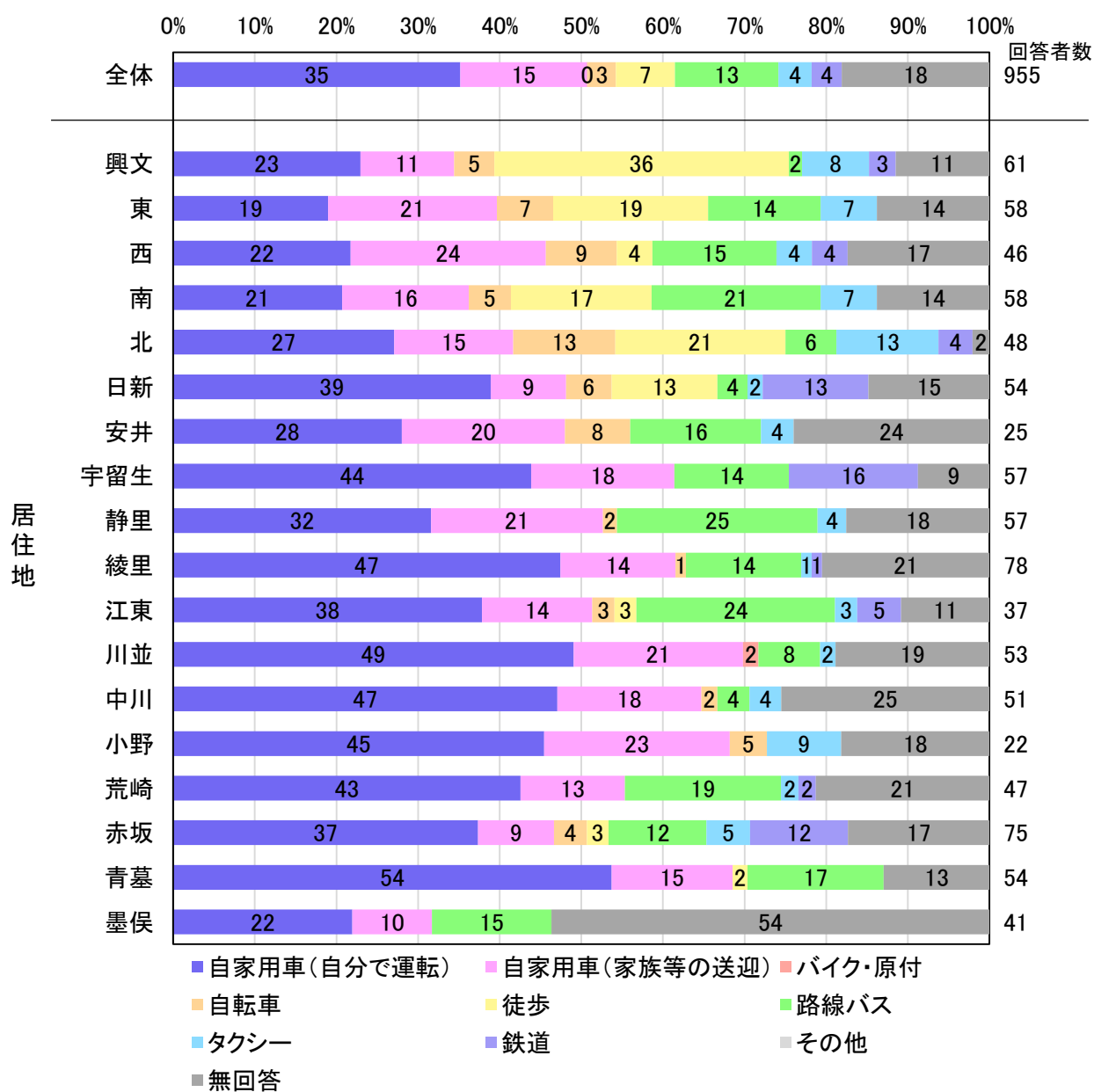


※1%未満の値は表記していない

(居住地別の大垣駅までの交通手段)

- ・興文や北など、大垣駅周辺の地区では、徒歩の割合が高くなっている。
- ・静里や江東、南では、路線バスの割合が20%以上と高くなっている。

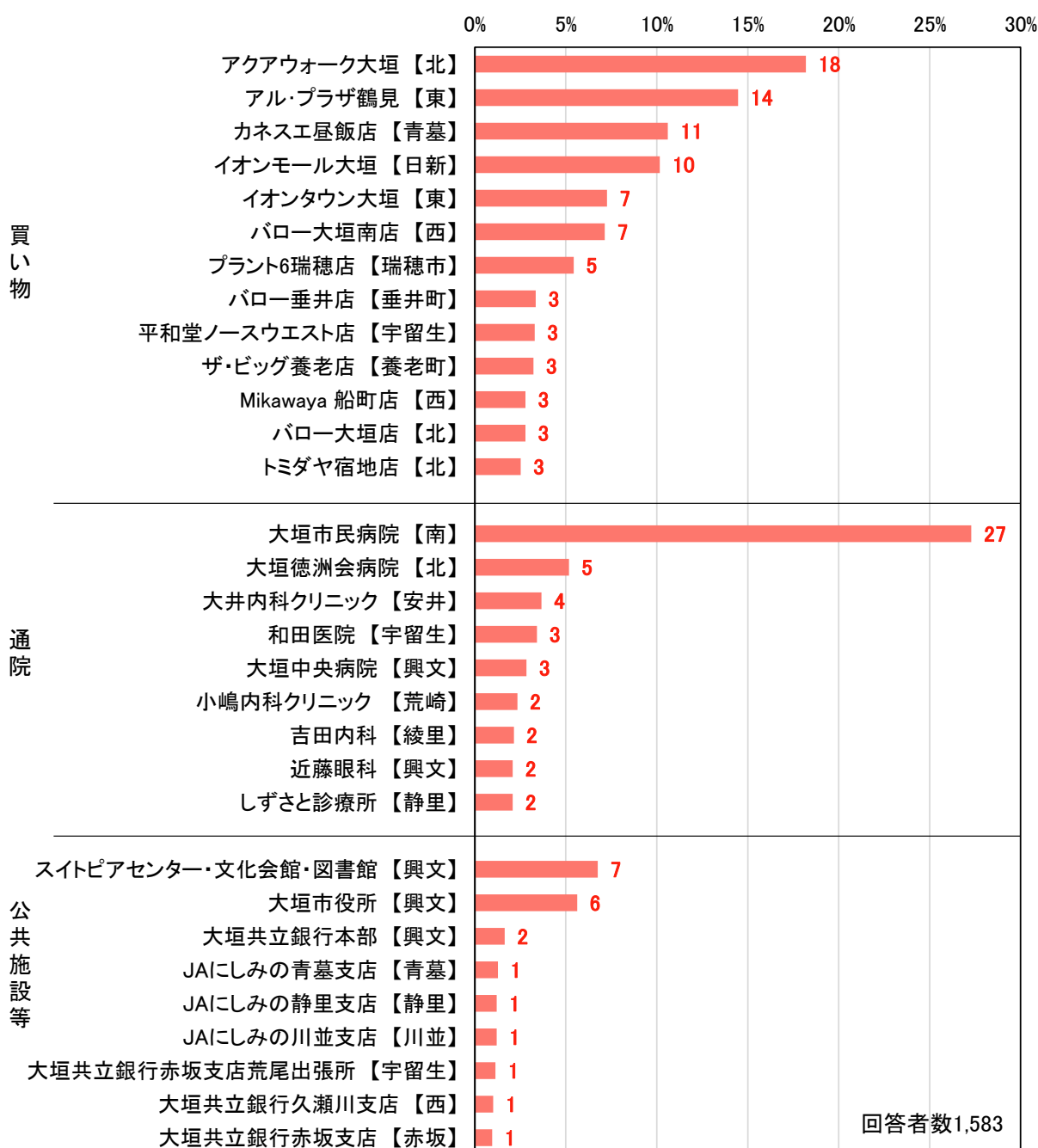
図表 1－13 地区別の大垣駅までの交通手段



③よく行く施設

- ・買い物では、アクアウォーク大垣が18%と最も高く、次いでアル・プラザ鶴見が14%、カネスエ昼飯店が11%となっている。
- ・通院では、市民病院が27%と最も高く、次いで大垣徳洲会病院が5%、大井内科クリニックが4%となっている。
- ・公共施設等では、スイトピアセンター・文化会館・図書館が7%と最も高く、大垣市役所が6%、大垣共立銀行本部が2%となっている。

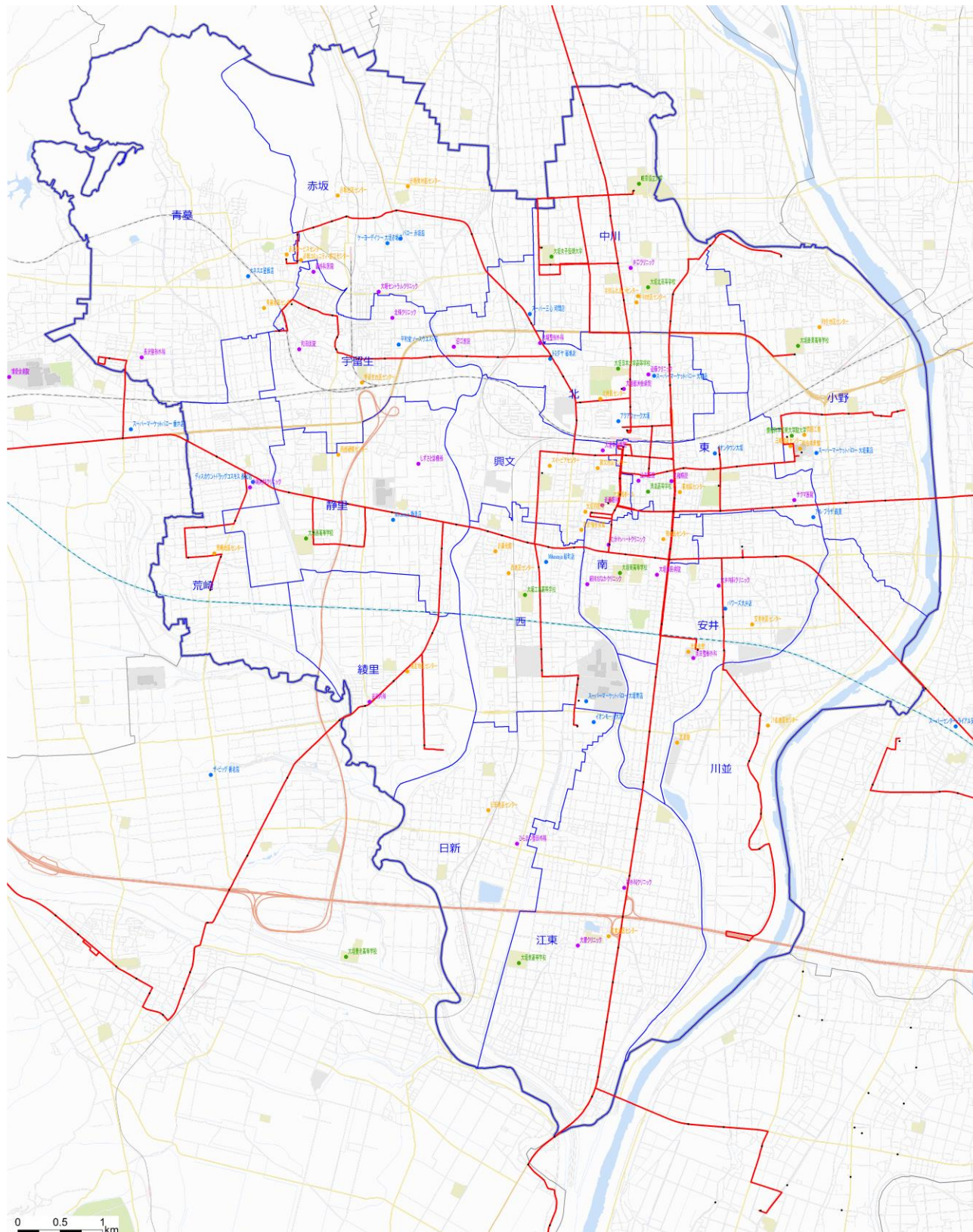
図表 1－14 よく行く施設



④よく行く施設（小学校区別）

- ・買い物では、北が27%、東が22%と高くなっている。
- ・通院では、南が31%、興文が14%と高くなっている。
- ・公共施設等では、興文が19%と高くなっている。

図表 1－15 施設の位置図



図表１－１６ 買い物

(単位:%)

		施設の位置																							(単位:%)		サンプル数
		興文	東	西	南	北	日新	安井	宇留生	静里	綾里	江東	川並	中川	小野	荒崎	赤坂	青墓	墨俣	瑞穂市	垂井町	養老町	安八町	その他			
全体		2	22	10	1	27	10	3	3	2		1	0	1	1	1	4	11	0	5	5	4	2	3	1,583		
居住地	興文	12	16	8	1	63	10		1				1							1	2				89		
	東	4	93	1		28	4							1	5								2		97		
	西	6	15	38		23	14										2			3			3		66		
	南	3	52	11	7	23	10	4							1										90		
	北	3	11	1		90	5	1	3					1			4	3		1	1	3		1	79		
	日新			37		7	30	1				2			1		1					8			90		
	安井	2	56	12		10	8	24							4			2		2			2		50		
	宇留生	1	11			24	3		30								13	44			8			3	91		
	静里	1	7	14		23	10		7	17							6	3	9		1	7	9		87		
	綾里	2	6	26		10	27		2	7							2		3	1		2	20	1		119	
	江東		5	24		8	28	3				7				1							9			74	
	川並		34	6		7	12	26								2					1			11		102	
	中川		10		1	68	3								7			1	3		1				15	73	
	小野	2	57			40	2									17					7			5	5	42	
	荒崎		17	5		17	12		2	3						1	12	1	15			40	17	1	1	86	
	赤坂		5			39	3		10									30	21				1		12	105	
青墓	1	6			7	1	3									1	7	80			29	1			86		
墨俣		21			18	2	1							2				2		73			16	5	104		
無回答		23	8		21	4	4	2				8		23	2		2	11			8	2		4	53		

図表１－１７ 通院

(単位:%)

		施設の位置																							(単位:%)		サンプル数
		興文	東	西	南	北	日新	安井	宇留生	静里	綾里	江東	川並	中川	小野	荒崎	赤坂	青墓	墨俣	瑞穂市	垂井町	養老町	安八町	その他			
全体		14	8	5	31	11	2	7	9	3	2	3	0	4	4	3	3	2	2	2	2	2	1	2	1,583		
居住地	興文	40	13	1	26	10		4	1						1		2				1			2	89		
	東	19	42		30	13	1	5						2	6						2			1	97		
	西	29	8	18	41	5	3	8	3	3		2	2		3					2	3	2		2	66		
	南	26	21	9	39	9	1	11	2	2	1	2		4	3	1					1			1	90		
	北	18	5	4	29	41		4	5					13	3	3	1		1	1	1				79		
	日新	8	4	23	24	7	18	8			4	13								1			1	1	90		
	安井	6	20	4	42	8		48	2	2				2	4								2		50		
	宇留生	12		2	29	14			52	2				1			9	7		1	2		1	1	91		
	静里	25	1	10	34	15		3	16	20	1			2	1	5	1					1	1	3	87		
	綾里	9	3	5	29	7	4	9	4	6	24			1	4			1			1	5	3	1	119		
	江東	15	1	3	39	5	11	1				35			1	1	1						1	3	74		
	川並	6	9	1	31	4		29				8	2		5	1	3				1	1	1		102		
	中川	10	1	1	15	22			3						26	3						3			3	73	
	小野	10	12	2	33	12		2							2	40						5				42	
	荒崎	10	2	3	35	13	1	6	14	7	2				1	2	36		6		8	3		5	2	86	
赤坂	6	2		21	15	1	1	17						10	1		30	3		3	2			4	105		
青墓	1	2		26	2			38	2					1		2	5	23		22				1	86		
墨俣	2	1	1	36	2		3							1	9			33			10	16		4	104		
無回答	15	4	11	34	25	4	8	4	9					6	6	2		2			2			2			

図表１－１８ 公共施設等

(単位:%)

		施設の位置																						サンプル数
		興文	東	西	南	北	日新	安井	宇留生	静里	綾里	江東	川並	中川	小野	荒崎	赤坂	青墓	墨俣	瑞穂市	垂井町	養老町	安八町	その他
		19	4	2	1	2	2	1	3	3	1	2	2	3	2	2	3	2	3	2	4	1		1,583
居住地	興文	44	3	1		2					1				1								1	89
	東	24	30					1	1						1	4							1	97
	西	18			17		5																	66
	南	34	4	2		6			2							4								90
	北	20	5	1		18									1	6		1						79
	日新	17			8			23						3	1							2		90
	安井	12	8			8			12															50
	宇留生	20	1	1		1	1	1	36	2					1			3	4					91
	静里	22	1	6		3				2	34	1			1	2	2							87
	綾里	22	2	2	1	1					6	11	1	3	1	2						1		119
	江東	9	1			1		4	1				26		1					7				74
	川並	12	5			1	1	2		1			3	25		1						3		102
	中川	10				4									49							1		73
	小野	7	24			2		2							10					2				42
	荒崎	23	1	1	1	2		1	1	7	1				1	1	24					3		86
	赤坂	19	1			1				2			1	4	1	2		28				3		105
	青墓	6	2	1				1	3	2				1			10	38					1	86
	墨俣	13														2				49		4		104
	無回答	19	4	2			4			2					4	4		2			2			53

(3) 路線バスを利用しない理由

3-1の買い物、通院先、公共施設等、大垣駅までの交通手段について、「路線バス」を1つも選択しなかった人にお聞きします。

3-2. 路線バスを利用しない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自家用車を運転できるから
2. 家族等が送迎してくれるから
3. 行きたい施設まで徒歩や自転車を利用できる距離だから
4. 路線バスがあることを知らないから
5. 路線バスの使い方がわからないから
6. 今の路線バスのサービスでは利用できないから
7. その他

- ・全体では、「自家用車を運転できるから」が65%と最も高く、次いで「家族等が送迎してくれるから」が24%となっている。
- ・年齢別にみると、「自家用車を運転できるから」は年齢が上がるにつれ割合が低くなっていて、「家族等が送迎してくれるから」は年齢が上がるにつれ割合が高くなっている。
- ・居住地別にみると、興文、東、西、南、北、安井などの市中心部に近い地域では、「行きたい施設まで徒歩や自転車を利用できる距離だから」の割合がその他の地域と比較して高くなっている。
- ・また、日新、小野は「今の路線バスのサービスでは利用できないから」が34%とその他の地域と比較して高くなっている。

図表 1-19 路線バスを利用しない理由

		自家 で用車 できる を運 転	して 家族 等が 送迎 する から	徒歩 や自 転車 利用 で 距離 が短 い	こと を路 線バ スに 乗ら ない から	路 線バ スの 利用 が方 便な い	利 用で きな い	今 の路 線バ スの 利用 が方 便な い	そ の 他	回答者数
全体		65	24	18	1	3	18	5		1,394
性別	男性	77	21	18	1	2	17	3		848
	女性	47	29	18	1	3	20	9		500
年齢	65歳～69歳	82	19	17	0	3	18	2		333
	70歳～74歳	79	19	19	2	3	16	2		372
	75歳～79歳	64	18	21	1	3	14	5		274
	80歳～84歳	50	30	14	0	3	22	11		232
	85歳以上	23	51	17	1	2	21	14		139
居住地	興文	50	24	42	4	8	13	10		84
	東	55	26	37		6	13	7		86
	西南	53	29	25	3	3	10	3		59
	南	55	26	36			14	8		74
	北	54	30	37	1	4	17	7		70
	日新	67	19	15	6	2	34	2		88
	安井	58	24	31		2	16	2		45
	宇留生	69	22	10			13	14		72
	静里	68	27	10		1	15	4		73
	綾里	75	26	7	2	2	21	2		101
	江東	69	29	13		3	15	8		62
	川並	72	21	9		1	22	3		92
	中川	72	24	10		3	15	4		68
	小野	58	26	5	3	5	34	5		38
	荒崎	73	23	4	3	3	23	5		78
	赤坂	66	18	12		2	19	7		90
	青墓	73	25	11		3	28			71
	墨俣	68	23	11		1	7	4		96
免許	持っている	84	17	16	1	3	17	2		1,072
	返納した		54	19	2	4	26	12		114
	持っていない		45	30	1	3	17	19		184
世帯構成	1人暮らし	50	13	13	2	3	17	12		203
	夫婦	76	19	19	2	3	16	3		435
	親と子	63	29	18		1	20	5		347
	親と子と孫	65	33	19	0	3	21	5		286
	祖父母と親と子と孫	55	45	27			9			11
	その他	49	34	6		9	17	6		35

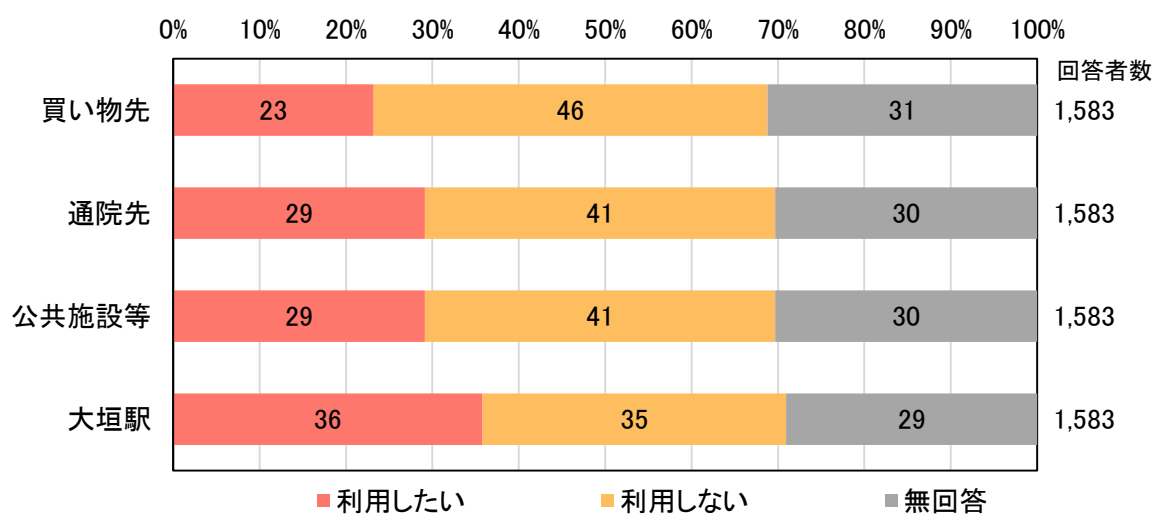
(4) 路線バスの利用意向

3-3. 路線バスのサービスが改善された場合、路線バスを利用したいと思いますか。(1つに○)

「買い物先」に行くために、路線バスを	1. 利用したい 2. 利用しない
「通院先」に行くために、路線バスを	1. 利用したい 2. 利用しない
「公共施設等」に行くために、路線バスを	1. 利用したい 2. 利用しない
「大垣駅」に行くために、路線バスを	1. 利用したい 2. 利用しない

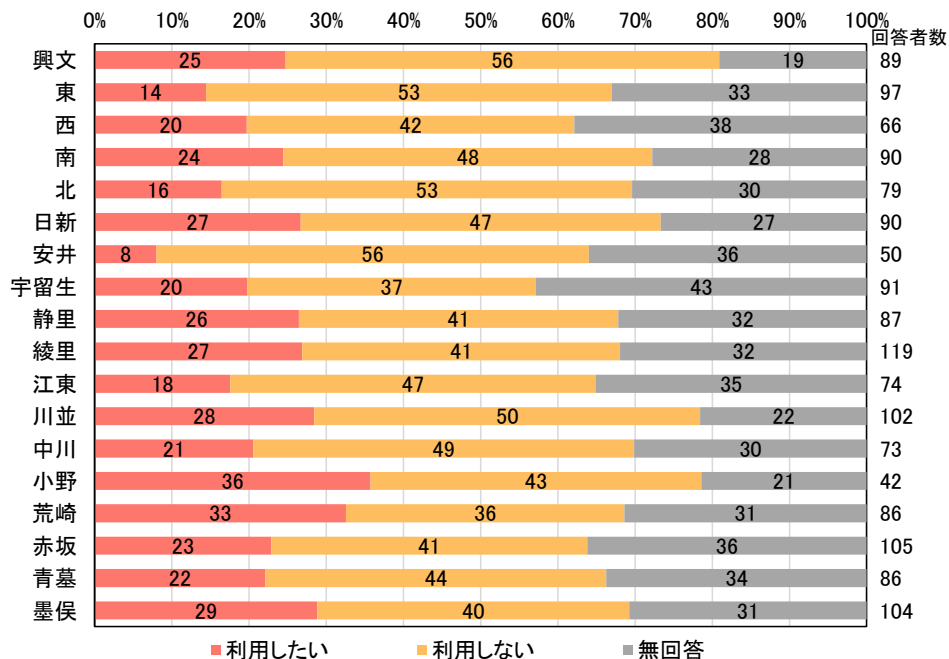
- ・ 買い物は「利用したい」が23%、通院および公共施設等は29%、大垣駅は36%となっている。

図表 1-20 路線バスの利用意向



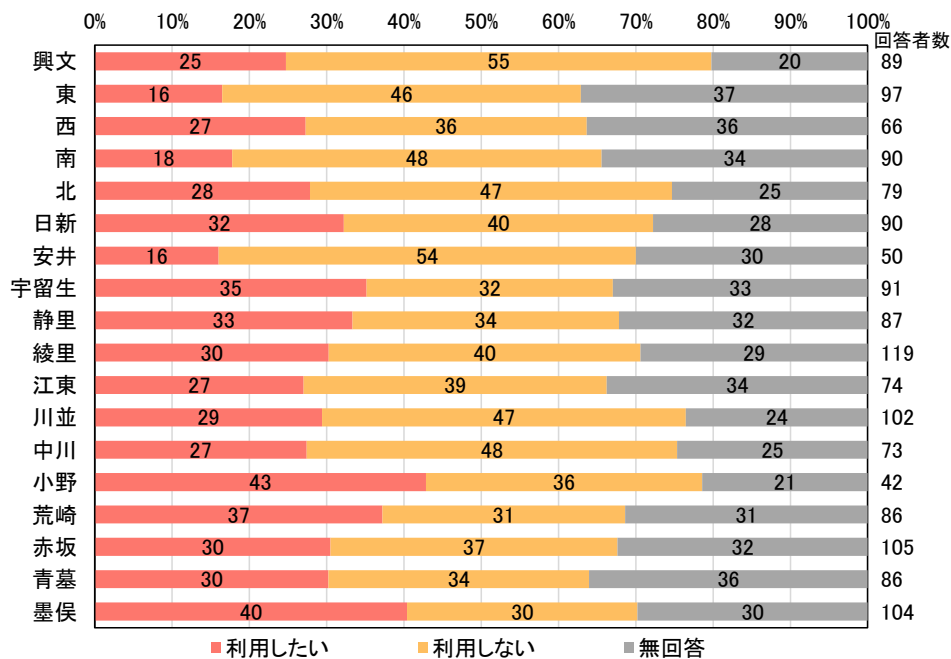
- ・買い物への路線バスの利用意向を居住地別にみると、「利用したい」の割合が最も高いのは小野で36%、最も低いのは安井で8%となっている。

図表 1－2 1 居住地別 買い物への路線バスの利用意向



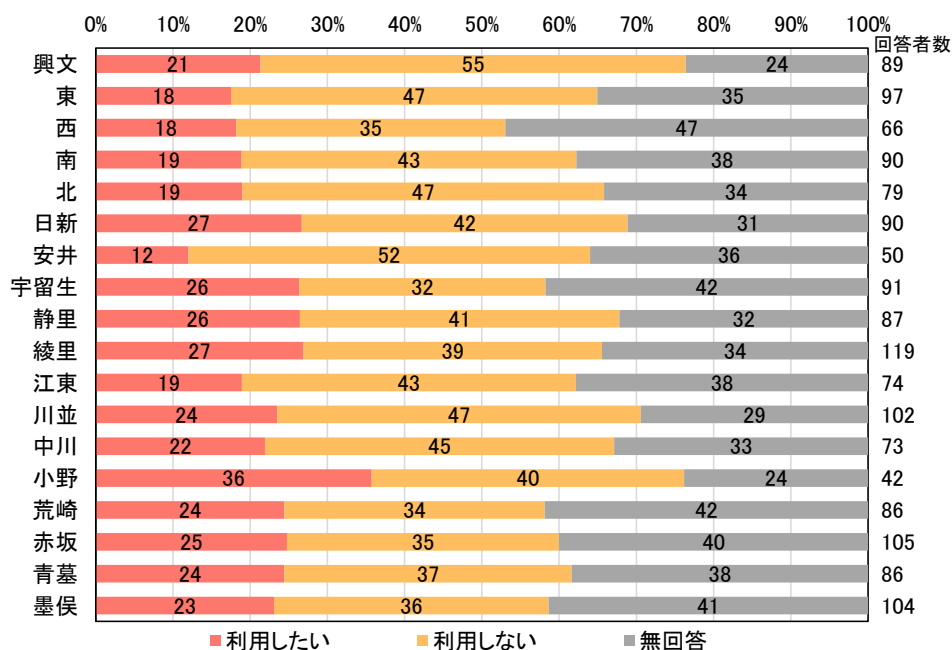
- ・通院への路線バスの利用意向を居住地別にみると、「利用したい」の割合が最も高いのは小野で43%、最も低いのは東、安井で16%となっている。

図表 1－2 2 居住地別 通院への路線バスの利用意向



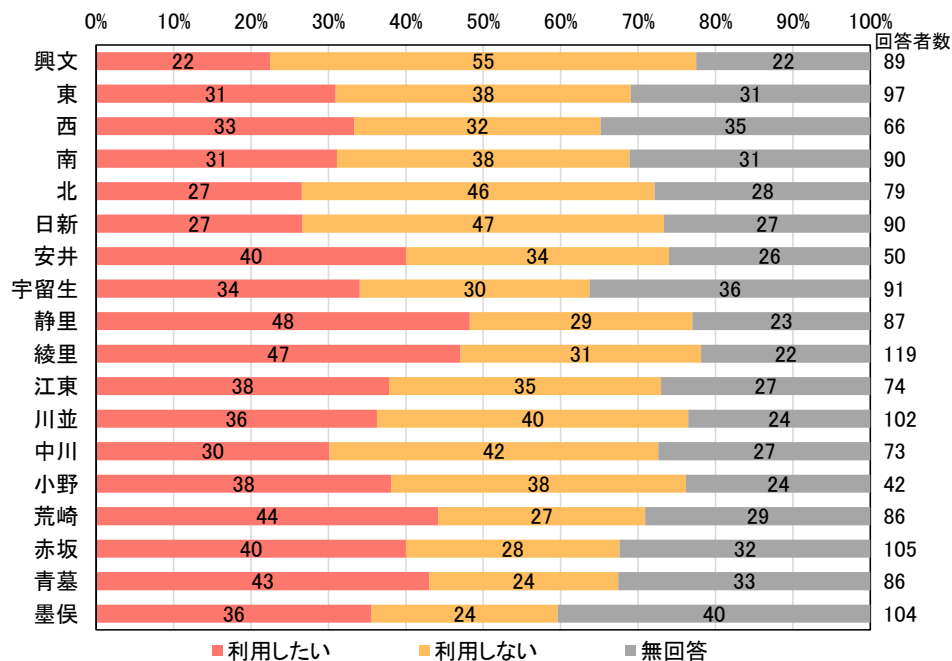
- ・ 公共施設等への路線バスの利用意向を居住地別にみると、「利用したい」の割合が最も高いのは小野で36%、最も低いのは安井で12%となっている。

図表 1－2 3 居住地別 公共施設等への路線バスの利用意向



- ・ 大垣駅への路線バスの利用意向を居住地別にみると、「利用したい」の割合が最も高いのは静里で48%、最も低いのは興文で22%となっている。

図表 1－2 4 居住地別 大垣駅への路線バスの利用意向



(5) 改善を望む路線バスのサービス

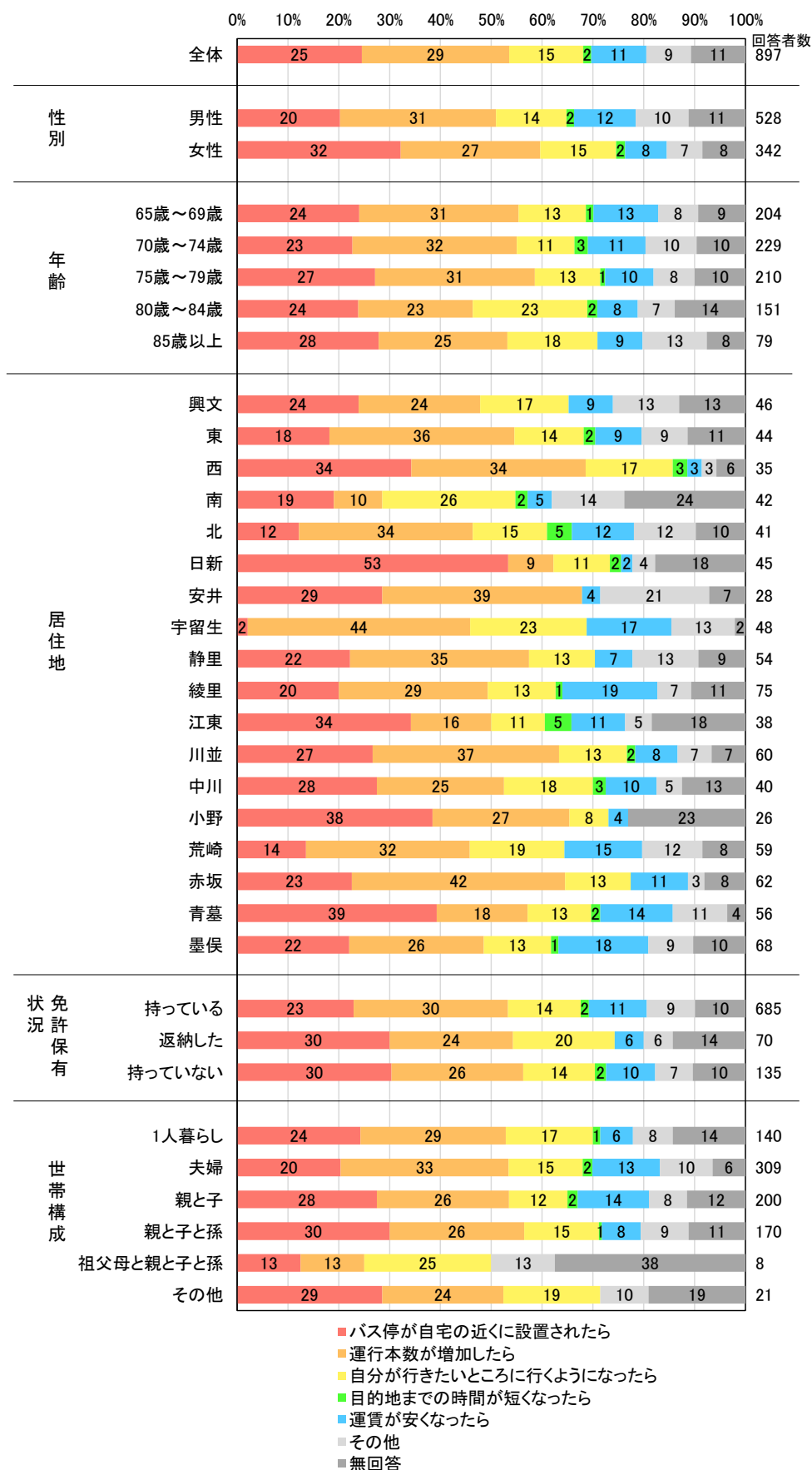
3-3で、いずれか1つでも「利用したい」を選択した人にお聞きします。

3-4. どのようなサービスが改善されたら利用しますか。(最も重要なもの1つに○)

1. バス停が自宅の近くに設置されたら
2. 運行本数が増加したら
3. 自分が行きたいところに行くようになったら
4. 目的地までの時間が短くなったら
5. 運賃が安くなったら
6. その他

- ・全体では、「運行本数が増加したら」が29%と最も高く、次いで「バス停が自宅の近くに設置されたら」が25%となっている。
- ・性別にみると、女性は「運行本数が増加したら」が32%となっており、男性の20%と比較して12ポイント高くなっている。
- ・居住地別にみると、日新は「バス停が自宅の近くに設置されたら」が53%と、その他の地域と比較して最も高くなっており、一方で宇留生は2%と最も低くなっている。
- ・宇留生は「運行本数が増加したら」が44%とその他の地域と比較して最も高くなっており、一方で南は10%と最も低くなっている。
- ・南は「自分が行きたいところに行くようになったら」が26%と、その他の地域と比較して最も高くなっている。

図表 1-25 改善を望む路線バスのサービス



(6) タクシーを利用する理由

3-1の買い物、通院先、公共施設等、大垣駅までの交通手段について、いずれか1つでも「タクシー」を選択した人にお聞きします。

3-5. タクシーを利用する理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家の前まで迎えに来てくれて、行きたいところにいけるから
2. 自分が使いたい時間に使えるから
3. 自家用車が運転できず、送迎してくれる家族もないから
4. 他の公共交通(鉄道、路線バス)のサービスでは、行きたいところへ行くことができないから
5. 身体的な理由で徒歩や自転車、路線バスによる移動ができないから
6. その他

- ・全体では、「家の前まで迎えに来てくれて、行きたいところにいけるから」が62%と最も高く、次いで「自分が使いたい時間に使えるから」が44%となっている。
- ・性別にみると、女性は「自家用車が運転できず、送迎してくれる家族もないから」と「身体的な理由で徒歩や自転車、路線バスによる移動ができないから」の割合が男性と比較して高くなっている。
- ・居住地別にみると、青墓は「他の公共交通のサービスでは、行きたいところへ行くことができないから」が50%と、その他の地域と比較して高くなっている。
- ・免許の有無別にみると、免許を返納した人、免許を持っていない人は「自家用車が運転できず、送迎してくれる家族もないから」がそれぞれ35%、51%と高くなっている。

図表 1-26 タクシーを利用する理由

		来て とこ ろに いけ るか らい	家 の 前 ま で 迎 え に	時 間 自 分 が 使 い か ら い	自 家 用 車 が 運 転 で き ず	行 く こ と が で き な い か ら	他 の 公 共 交 通 の サ ー ビ ス	自 転 車 、 移 動 が で き な い か ら	身 体 的 な 理 由 で 徒 歩 や	そ の 他	回答者数
全体		62	44	23	23	19	9				409
性別	男性	63	44	14	23	14	8				224
	女性	61	47	35	23	28	10				161
年齢	65歳～69歳	63	53	7	21	7	16				57
	70歳～74歳	54	40	16	31	16	9				70
	75歳～79歳	59	43	27	19	18	6				96
	80歳～84歳	65	46	26	21	20	9				96
	85歳以上	66	45	28	23	34	7				74
居住地	興文	64	57	32	29	39	14				28
	東	56	53	25	16	13	9				32
	西	71	50	38	21	25	4				24
	南	65	47	29	12	21	6				34
	北	70	57	17	39	13	13				23
	日新	65	24	24	29	6	6				17
	安井	44	44	11	22	33					9
	宇留生	67	54	25	21	21	8				24
	静里	59	32	23	18	18	5				22
	綾里	50	21	21	38	4	17				24
	江東	79	50	43	29	29					14
	川並	56	41	7	19	4	4				27
	中川	58	62		19	19	8				26
	小野	57	36	36	36	50					14
	荒崎	56	33	6	11	6	33				18
	赤坂	72	52	24	20	36	4				25
	青墓	50	30	40	50	20	10				10
	墨俣	64	36	27	9	18	9				22
免許	持っている	61	45	9	22	8	11				244
	返納した	63	40	35	29	40	5				62
	持っていない	63	49	51	23	34	5				94
世帯構成	1人暮らし	59	45	35	18	21	12				92
	夫婦	62	46	17	24	14	8				139
	親と子	66	49	27	24	23	9				79
	親と子と孫	56	49	12	27	25	5				59
	祖父母と親と子と孫 その他	100 67	 33	 42	 25	 33					 12

(7) タクシーを利用しない理由

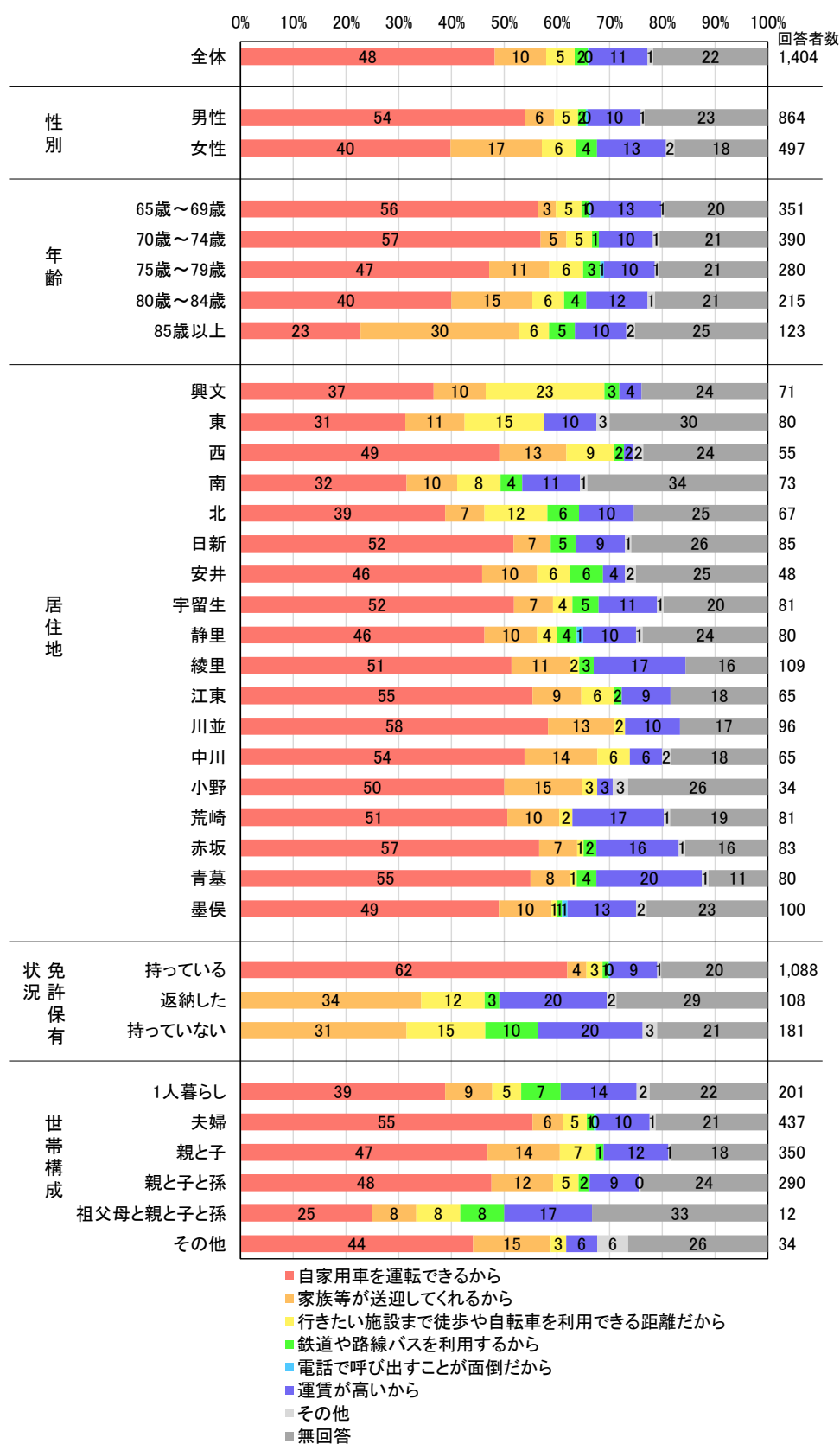
3-1の買い物、通院先、公共施設等、大垣駅までの交通手段について、「タクシー」を1つも選択しなかった人にお聞きします。

3-6. タクシーを利用しない理由はなんですか。(1つに○)

1. 自家用車を運転できるから
2. 家族等が送迎してくれるから
3. 行きたい施設まで徒歩や自転車を利用できる距離だから
4. 鉄道や路線バスを利用するから
5. 電話で呼び出すことが面倒だから
6. 運賃が高いから
7. その他

- ・全体では、「自家用車を運転できるから」が49%と最も高くなっている。
- ・性別にみると、男性は「自家用車を運転できるから」が54%と、女性の40%と比較して14ポイント高くなっており、女性は「家族等が送迎してくれるから」が17%と、男性の6%と比較して11ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「自家用車を運転できるから」は年齢が上がるにつれ割合が低くなっており、「家族等が送迎してくれるから」は年齢が上がるにつれ割合が高くなっている。
- ・居住地別にみると、興文は「行きたい施設まで徒歩や自転車を利用できる距離だから」が23%と、その他の地域と比較して高くなっている。
- ・免許保有状況をみると、免許を返納した人、持っていない人は「運賃が高いから」が20%と、免許を持っている人の9%と比較して11ポイント高くなっている。
- ・免許を持っていない人（免許を一度も持ったことがない人）は「鉄道や路線バスを利用するから」が10%と、免許を持っている人、返納した人と比較して高くなっている。

図表 1-27 タクシーを利用しない理由



(8) 樽見線の利用

3－7. 樽見線を利用しますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 週4日以上 | 2. 週2～3日 | 3. 週1日 |
| 4. 月1～3日 | 5. 年に数回 | 6. 利用しない |

上記で1～5を選んだ人

よく訪れる目的地はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. モレラ岐阜(モレラ岐阜駅)
2. 淡墨桜、うすずみ温泉(樽見駅)
3. 谷汲山華厳寺(谷汲口駅)
4. 大垣市内の施設(大垣駅)
5. その他

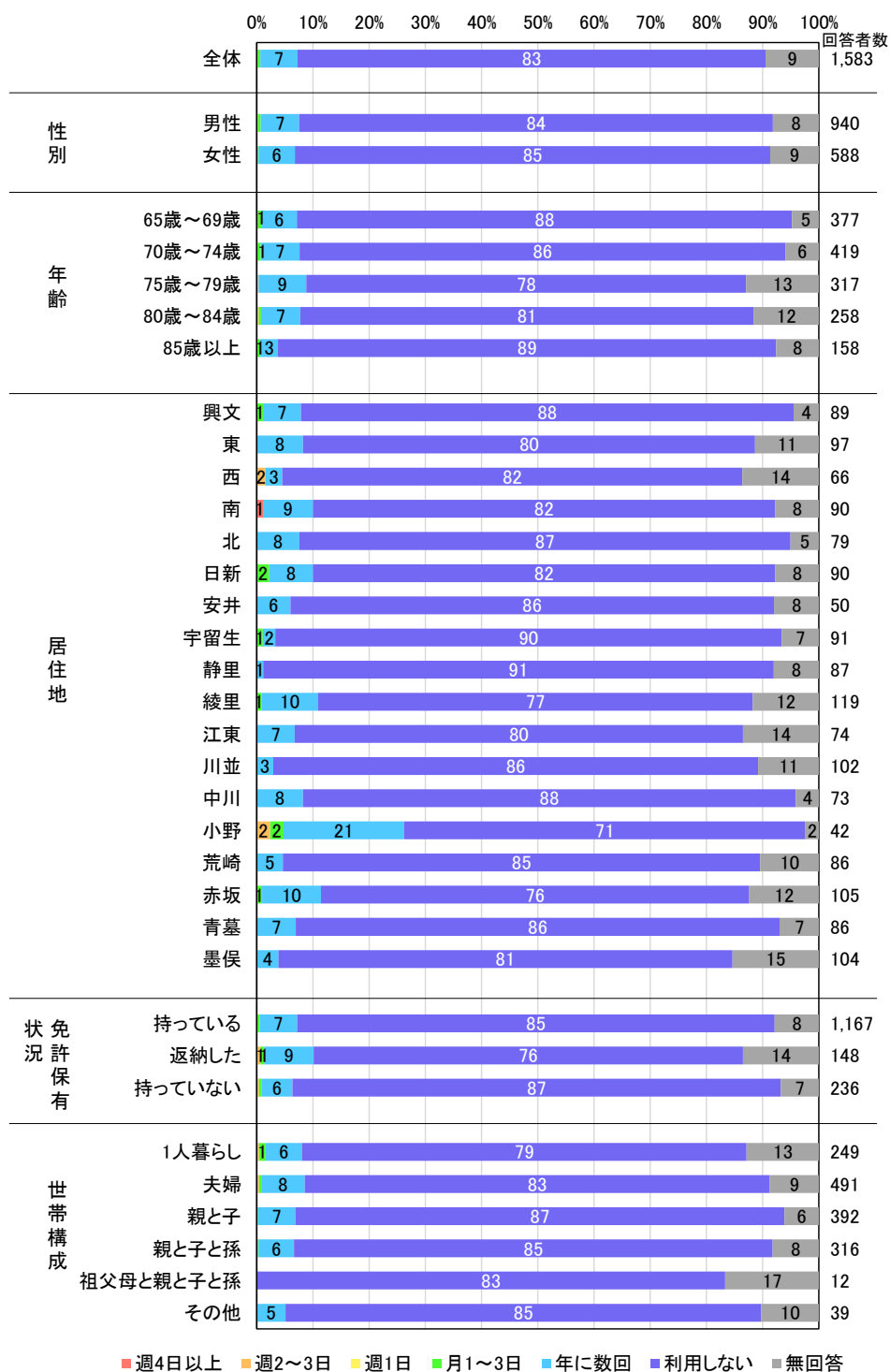
(利用の頻度)

- ・全体では、「利用しない」が83%と最も高く、「年に数回」が7%となっている。
- ・樽見線を年に数回以上利用する人の回答者数は、週4日以上は1人、週2～3日は2人、月1～3日が7人、年に数回が105人となっている。
- ・居住地別にみると、東大垣駅がある小野は「年に数回」が21%となっており、その他の地域と比較して高くなっている。

(よく訪れる目的地)

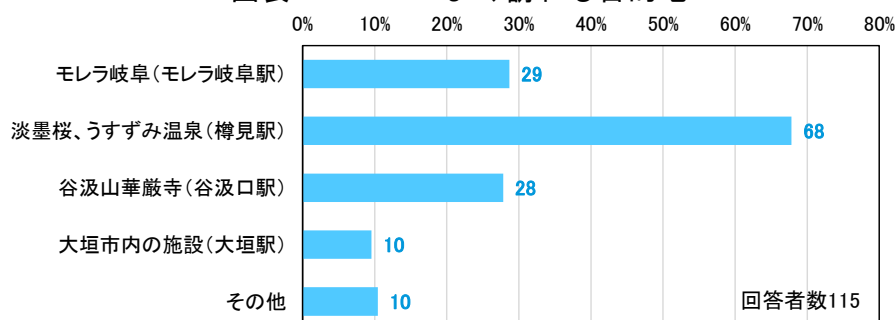
- ・淡墨桜、うすずみ温泉(樽見駅)が68%と最も多く、次いでモレラ岐阜(モレラ岐阜駅)が29%、谷汲山華厳寺(谷汲駅)が28%となっている。

図表 1－28 樽見線の利用の頻度



※1%未満の値は表記していない

図表 1－29 よく訪れる目的地



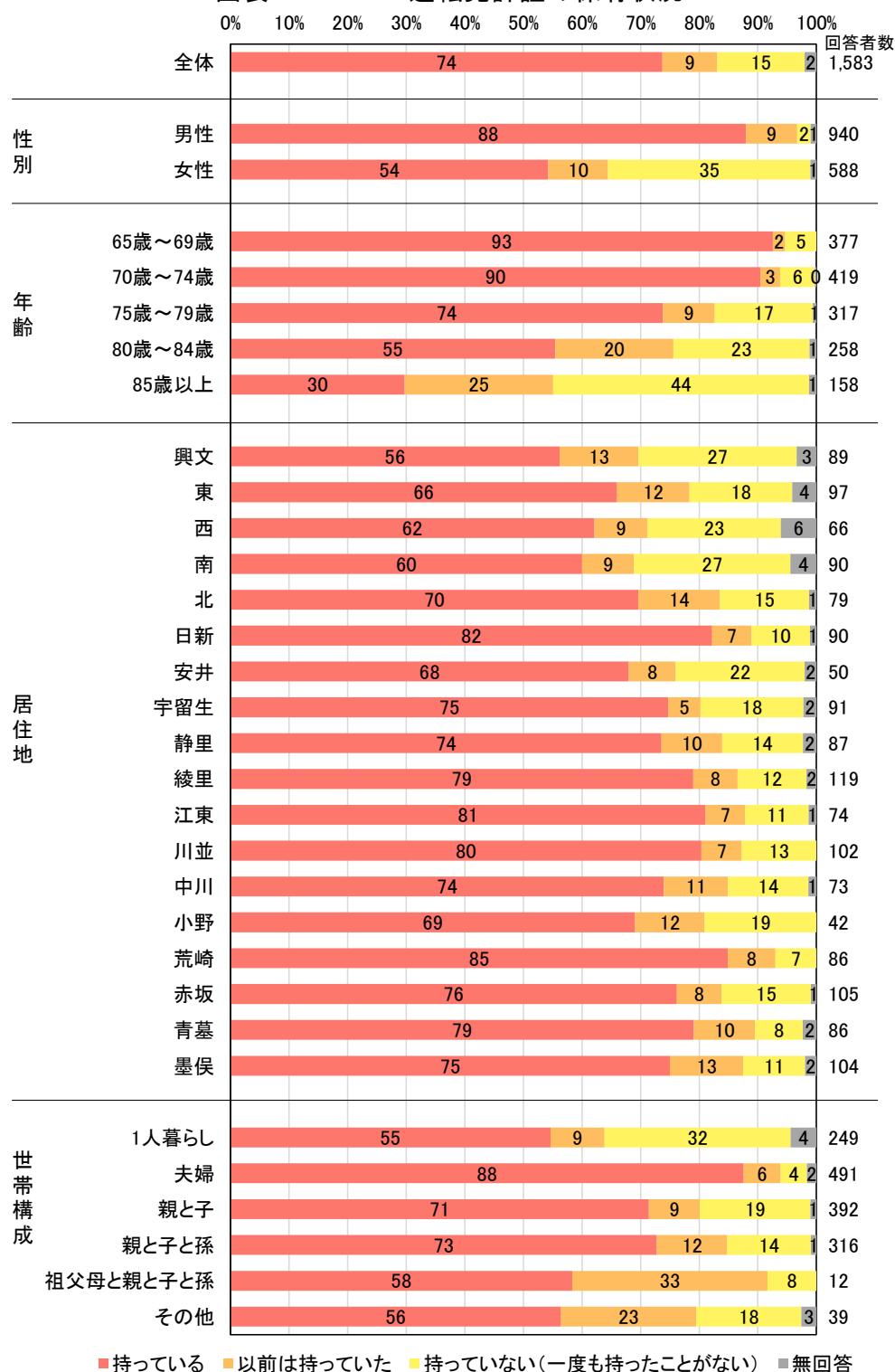
(9) 運転免許証の保有状況

3－9. 運転免許証の保有状況をおしえてください。(1つに○)

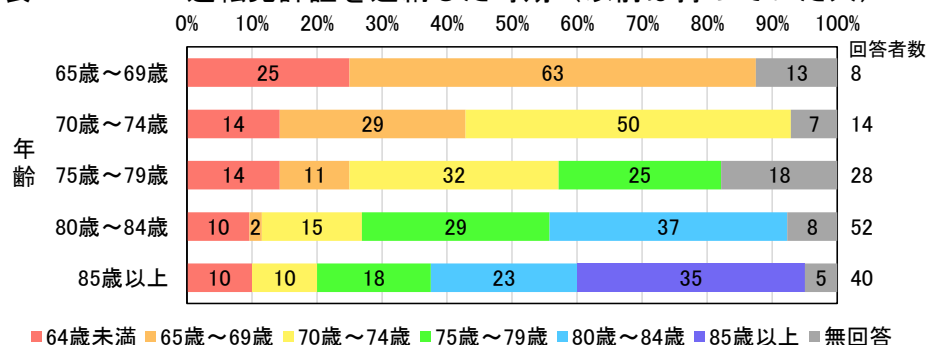
1. 持っている
2. 以前は持っていた⇒() 歳ごろまで
3. 持っていない(一度も持ったことがない)

- ・全体では、「持っている」が74%と最も高く、次いで「持っていない(一度も持ったことがない)」が15%、「以前は持っていた」が9%となっている。
- ・性別にみると、男性は「持っている」が88%と、女性の54%と比較して34ポイント高くなっている。
- ・女性は「持っていない(一度も持ったことがない)」が35%と、男性の2%と比較して33ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「持っている」は年齢が上がるにつれ割合が低くなっており、「以前は持っていた」「持っていない(一度も持ったことがない)」は年齢が上がるにつれ割合が高くなっている。
- ・世帯構成をみると、1人暮らしの人は、「持っている」が55%とその他と比較して低くなっており、「持っていない(一度も持ったことがない)」が32%とその他と比較して高くなっている。

図表 1 - 3 0 運転免許証の保有状況



図表 1 - 3 1 運転免許証を返納した時期 (以前は持っていた人)



(10) 運転免許証返納の意向

運転免許証をお持ちの方にお聞きします。

3-10. 将来、運転免許証の返納をお考えですか。(1つに○)

1. 返納するつもり 2. 返納するつもりはない

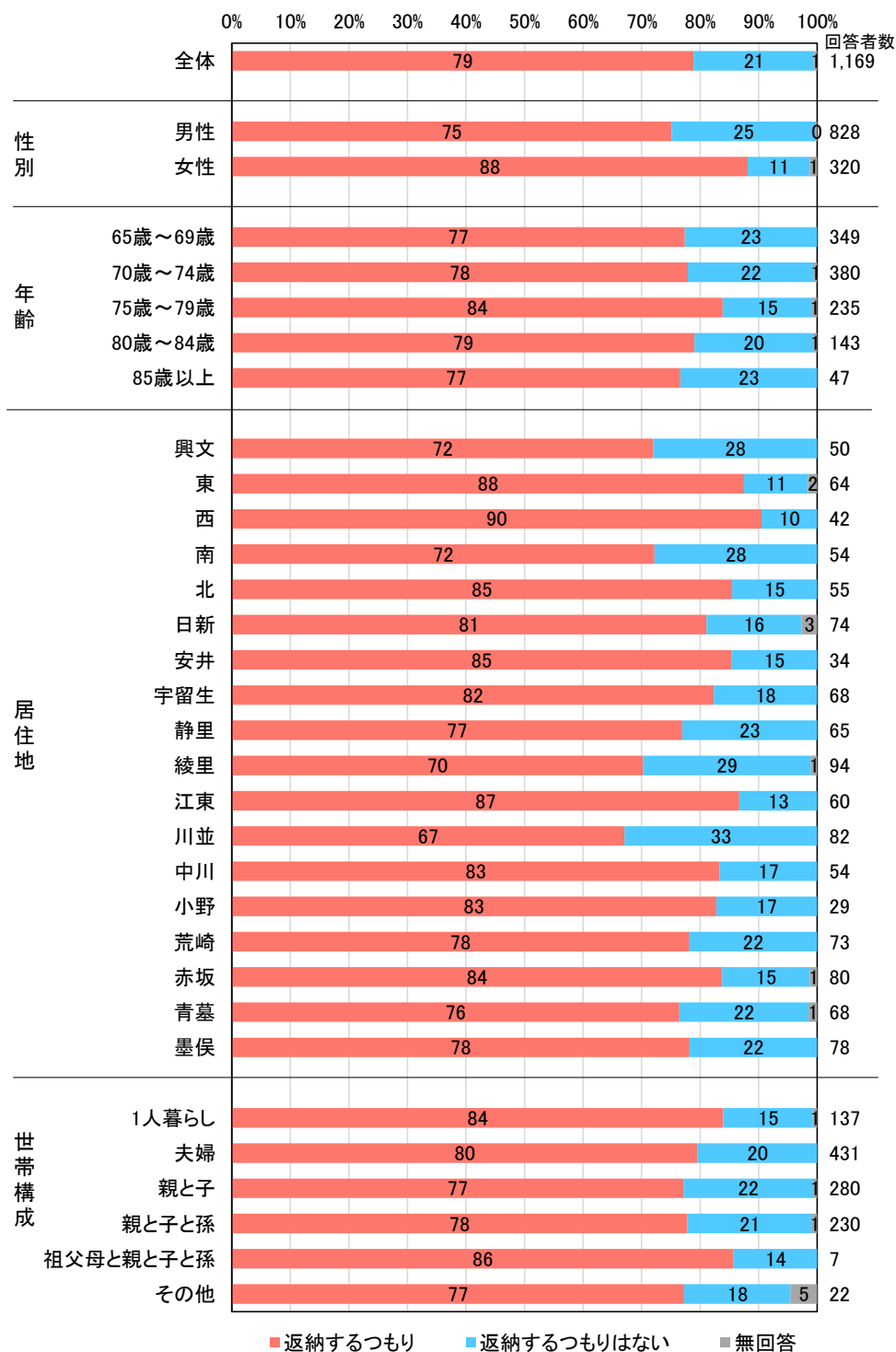
上記で1を選んだ人

何歳頃に返納したいとお考えですか。(1つに○)

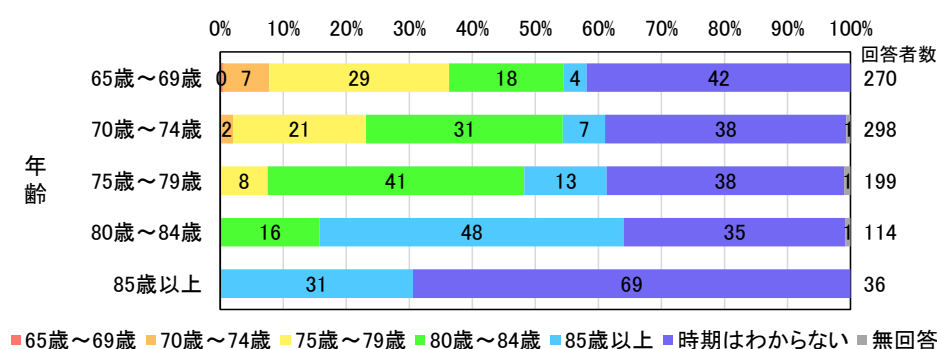
1. 65歳～69歳 2. 70歳～74歳 3. 75歳～79歳
4. 80歳～84歳 5. 85歳以上 6. 時期はわからない

- ・全体では、「返納するつもり」が79%、「返納するつもりはない」が21%となっている。
- ・居住地別にみると、「返納するつもりはない」は興文が28%、南が28%、綾里が29%、川並が33%と、その他の地域と比較して高くなっている。

図表 1－3 2 運転免許証返納の意向



図表 1－3 3 運転免許証返納の時期



1.4 調査結果（対象：高校生以上の通学者）

(1) 属性

①性別

・男性が51%、女性が48%となっている。

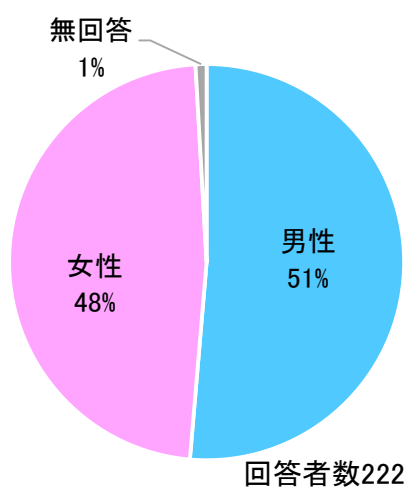
②学校

・高校生が53%、大学（院）生・専門学生が41%となっている。

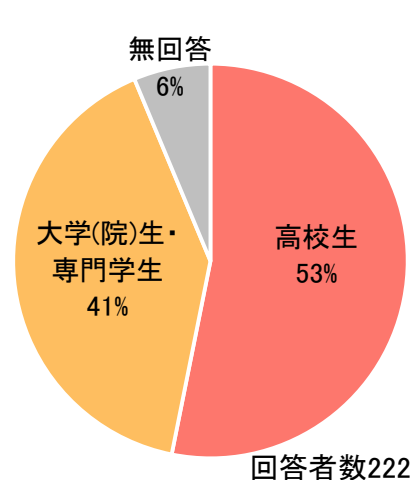
③居住地

・青墓が9.5%と最も高く、次いで綾里、中川が6.8%、東、小野が6.3%となっている。

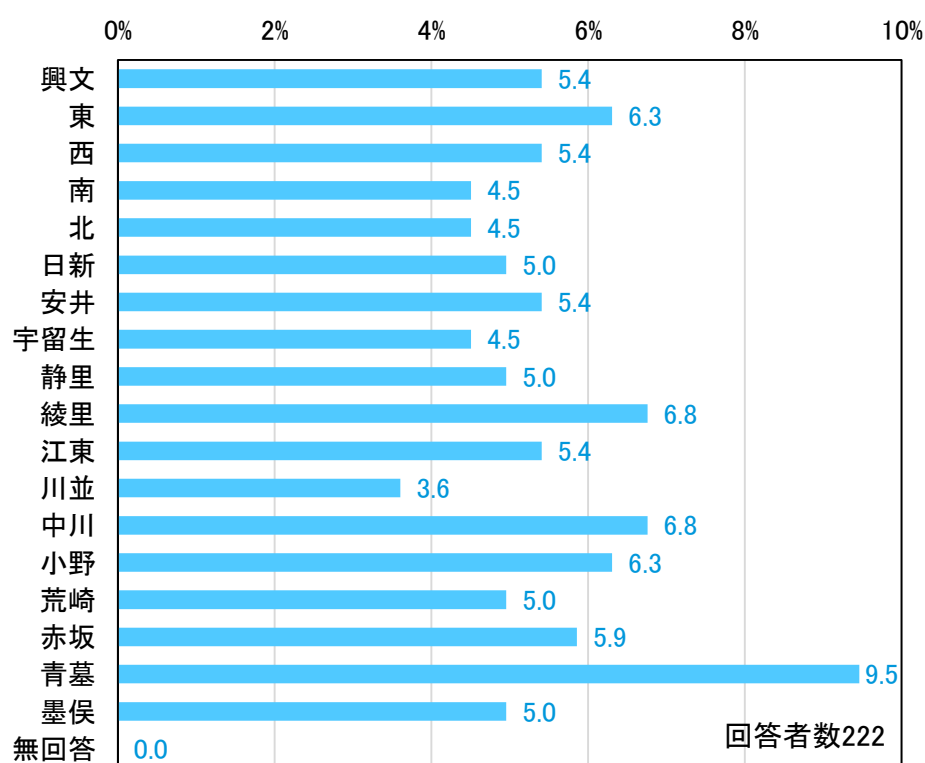
図表 1－34 性別



図表 1－35 学校



図表 1－36 居住地



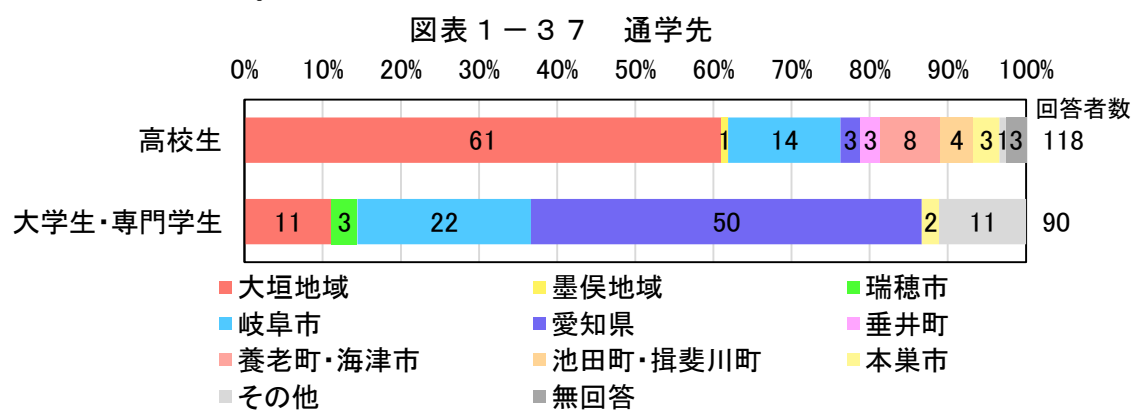
(2) 通学先

4-1. 通学先と通学先までの交通手段をおしえてください。

(通学先)

- | | | |
|------------|-------------|--------|
| 1. 大垣地域 | 2. 墨俣地域 | 3. 瑞穂市 |
| 4. 岐阜市 | 5. 愛知県 | 6. 垂井町 |
| 7. 養老町・海津市 | 8. 池田町・揖斐川町 | |
| 9. 本巣市 | 10. その他 | |

- ・ 高校生は大垣地域が61%と最も高く、次いで岐阜市が14%、養老町・海津市が8%となっている。
- ・ 大学生・専門学生は愛知県が50%と最も高く、次いで岐阜市が22%、大垣地域が11%となっている。



図表 1－39 居住地別乗車駅

		乗車駅															合計
		J R 大垣	J R 美濃 赤坂	J R 荒尾	J R 穂積	J R 垂井	樽見線 大垣	樽見線 東大垣	養老線 東赤坂	養老線 北大垣	養老線 室	養老線 西大垣	養老線 美濃青柳	養老線 友江	養老線 大外羽	無回答	
全体		62	9	5	2	1	2	1	4	3	1	1	1	2	4	7	105
居住地	興文	4					1				1						6
	東	3															3
	西	5															5
	南	7															7
	北	6								1							7
	日新	3															3
	安井	1															1
	宇留生	1		5												1	7
	静里	3															3
	綾里	9					1	1									11
	江東	1															1
	川並	3															3
	中川	5							1								6
	小野	4															4
	荒崎	3								1							4
	赤坂	2	3						3								8
	青墓	2	6			1				1							10
	墨俣				2												2

(4) 路線バスの利用意向

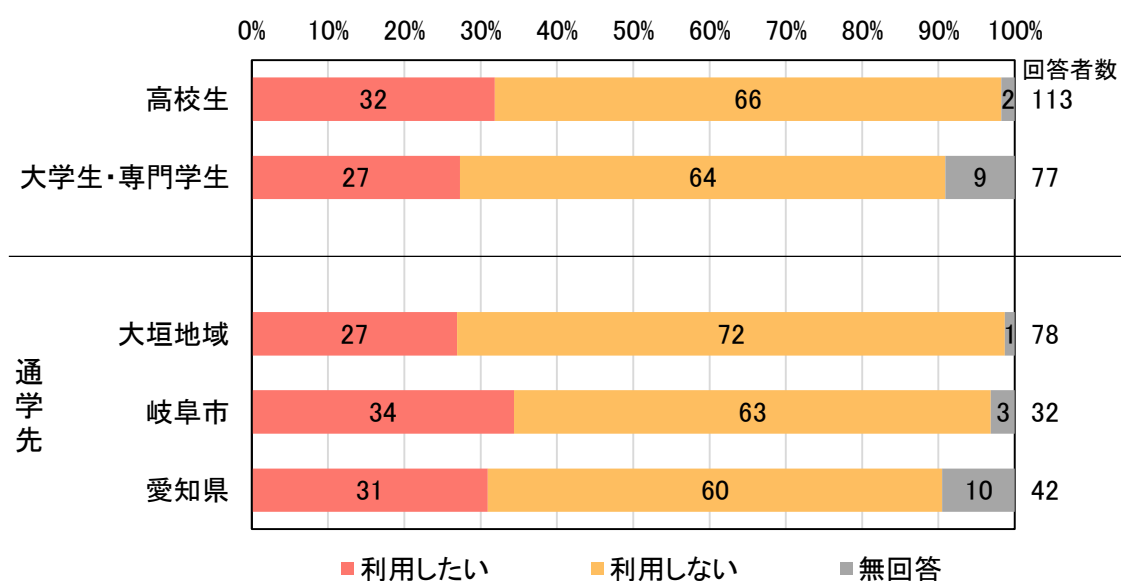
通学で路線バスを利用していない人にお聞きします。

4-2. 路線バスのサービスが改善された場合、通学で路線バスを利用したいと思いますか。(1つに○)

1. 利用したい 2. 利用しない

- ・高校生は「利用したい」が32%、大学生は27%となっている。
- ・通学先別にみると、大垣地域は「利用したい」が27%、岐阜市は34%、愛知県は31%となっている。

図表 1-40 路線バスの利用意向



※通学先は、通学者が比較的多い大垣地域、岐阜市、愛知県のみを抜粋

(5) 改善を望む路線バスのサービス

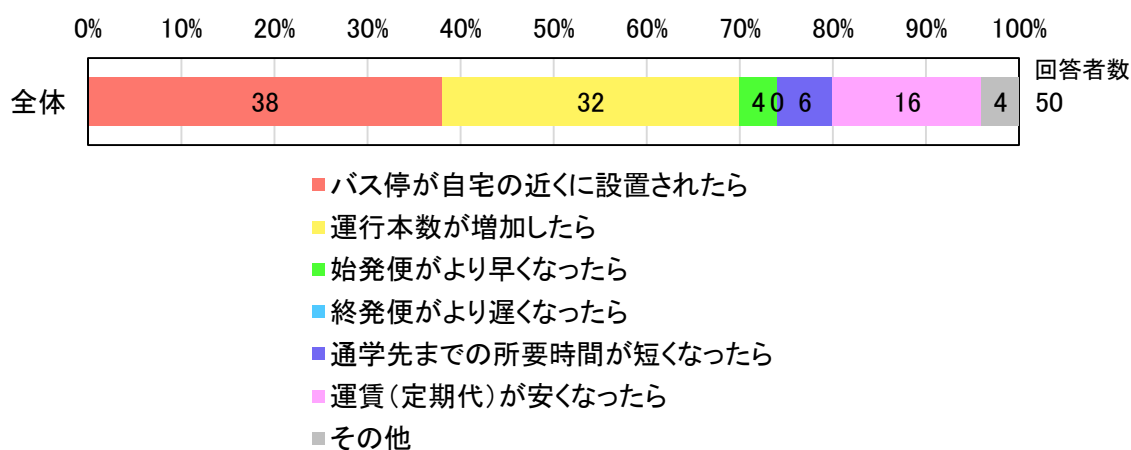
4-2で「利用したい」と答えた方

どのようなサービスが改善されたら利用しますか。(最も重要なもの1つに○)

1. バス停が自宅の近くに設置されたら
2. 運行本数が増加したら
3. 始発便がより早くなったら
4. 終発便がより遅くなったら
5. 通学先までの所要時間が短くなったら
6. 運賃(定期代)が安くなったら
7. その他

- ・「バス停が自宅の近くに設置されたら」が38%と最も高く、次いで「運行本数が増加したら」が32%、「運賃(定期代)が安くなったら」が16%となっている。

図表 1-4 1 改善を望む路線バスのサービス



※無回答は除く

(6) 路線バスを利用しない理由

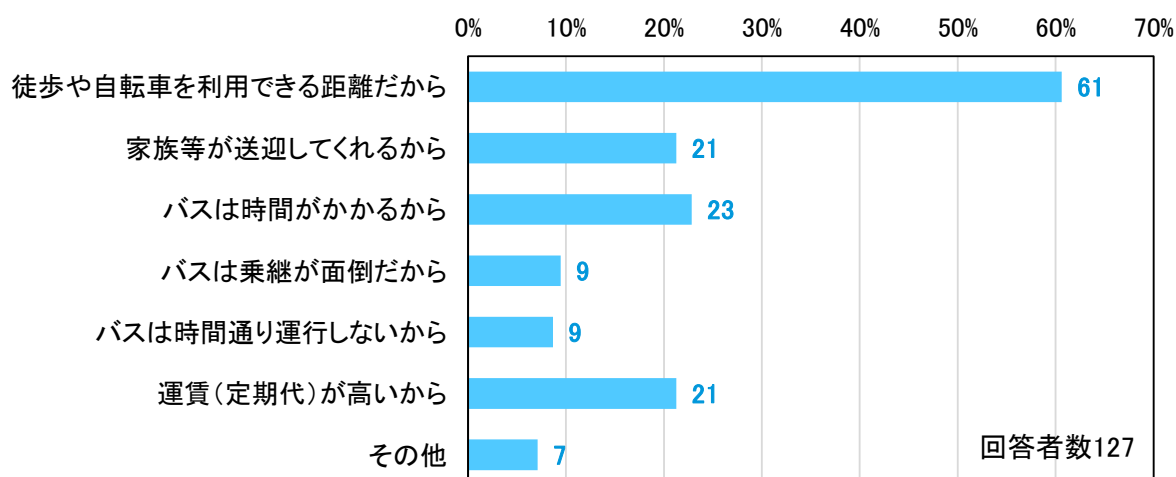
4-2で「利用しない」と答えた方

利用しない理由をおしえてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 学校または鉄道駅まで徒歩や自転車を利用できる距離だから
2. 家族等が送迎してくれるから
3. バスは時間がかかるから
4. バスは乗継が面倒だから
5. バスは時間通り運行しないから
6. 運賃(定期代)が高いから
7. その他

- ・「徒歩や自転車を利用できる距離だから」が61%と最も高く、次いで「バスは時間がかかるから」が23%、「家族等が送迎してくれるから」「運賃(定期代)が高いから」が21%となっている。

図表 1-42 路線バスを利用しない理由



1.5 調査結果（対象：通勤者）

(1) 属性

①性別

・男性が68%、女性が30%となっている。

②年齢

・40代、50代が26%と最も高く、次いで60歳以上が23%、30代が16%となっている。

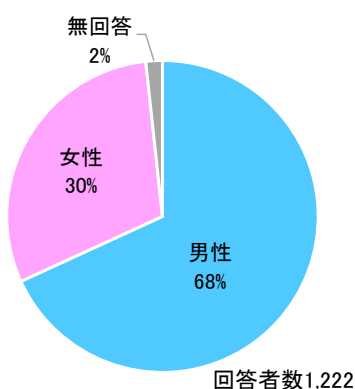
③職業

・会社員・公務員が73%と最も高く、次いでパートアルバイトが17%、自営業が5%となっている。

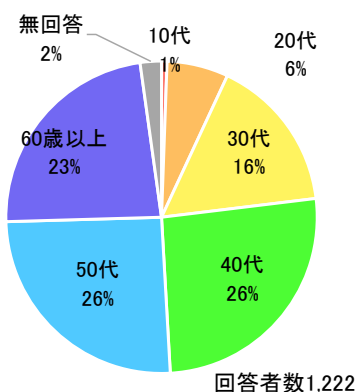
④居住地

・東が6.5%と最も高く、次いで興文が6.2%、青墓が6.1%となっている。

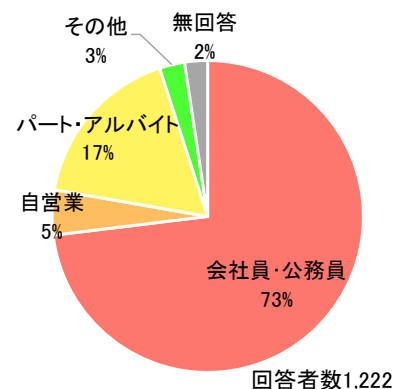
図表 1－4 3 性別



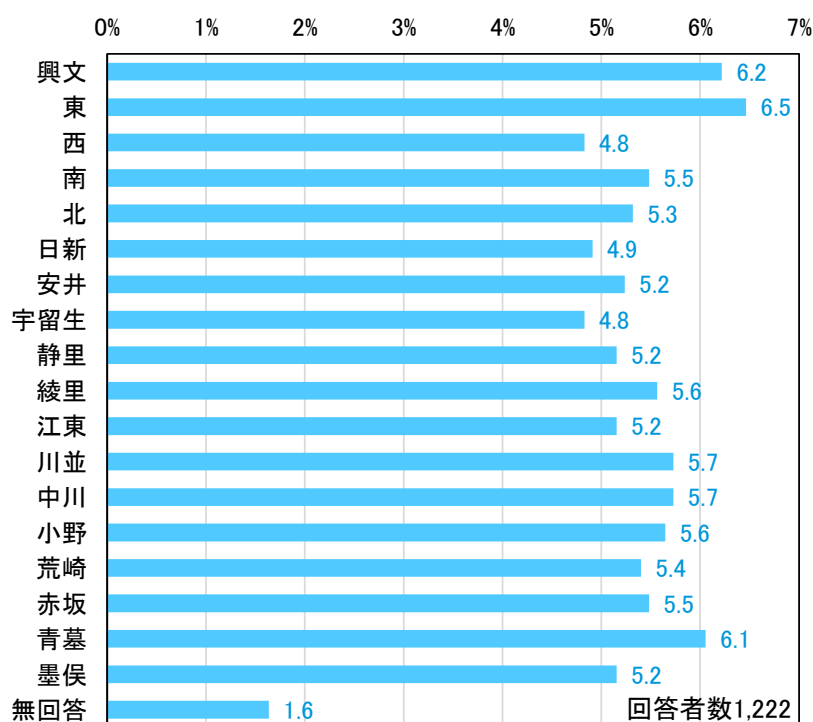
図表 1－4 4 年齢



図表 1－4 5 職業



図表 1－4 6 居住地



(2) 通勤先

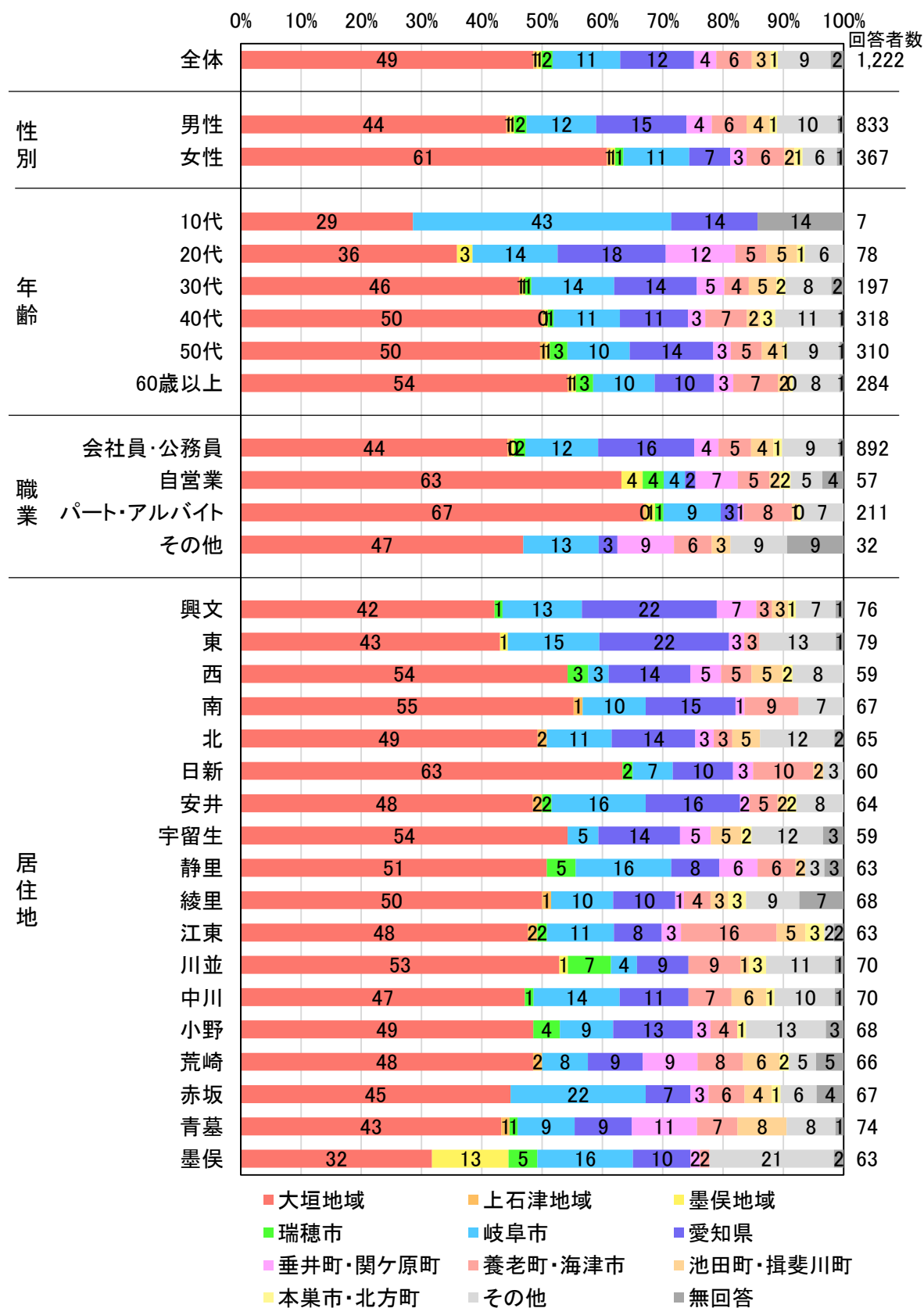
5-1. 通勤先と通勤先までの交通手段をおしえてください。

(通勤先)

- | | | |
|-------------|-------------|---------|
| 1. 大垣地域 | 2. 上石津地域 | 3. 墨俣地域 |
| 4. 瑞穂市 | 5. 岐阜市 | 6. 愛知県 |
| 7. 垂井町・関ヶ原町 | 8. 養老町・海津市 | |
| 9. 池田町・揖斐川町 | 10. 本巣市・北方町 | 11. その他 |

- ・全体では、大垣地域が49%と最も高く、次いで愛知県が12%、岐阜市が11%となっている。
- ・性別にみると、女性は大垣地域が61%と、男性の44%と比較して17ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、大垣地域は年齢が上がるにつれ割合が高くなっている。
- ・居住地別にみると、興文、東は愛知県が22%と、その他の地域と比較して高くなっている。
- ・日新は大垣地域が63%と、その他の地域と比較して高くなっている。
- ・江東は養老町・海津市が16%と、その他の地域と比較して高くなっている。
- ・赤坂は岐阜市が22%と、その他の地域と比較して高くなっている。

図表 1 - 4 7 通勤先



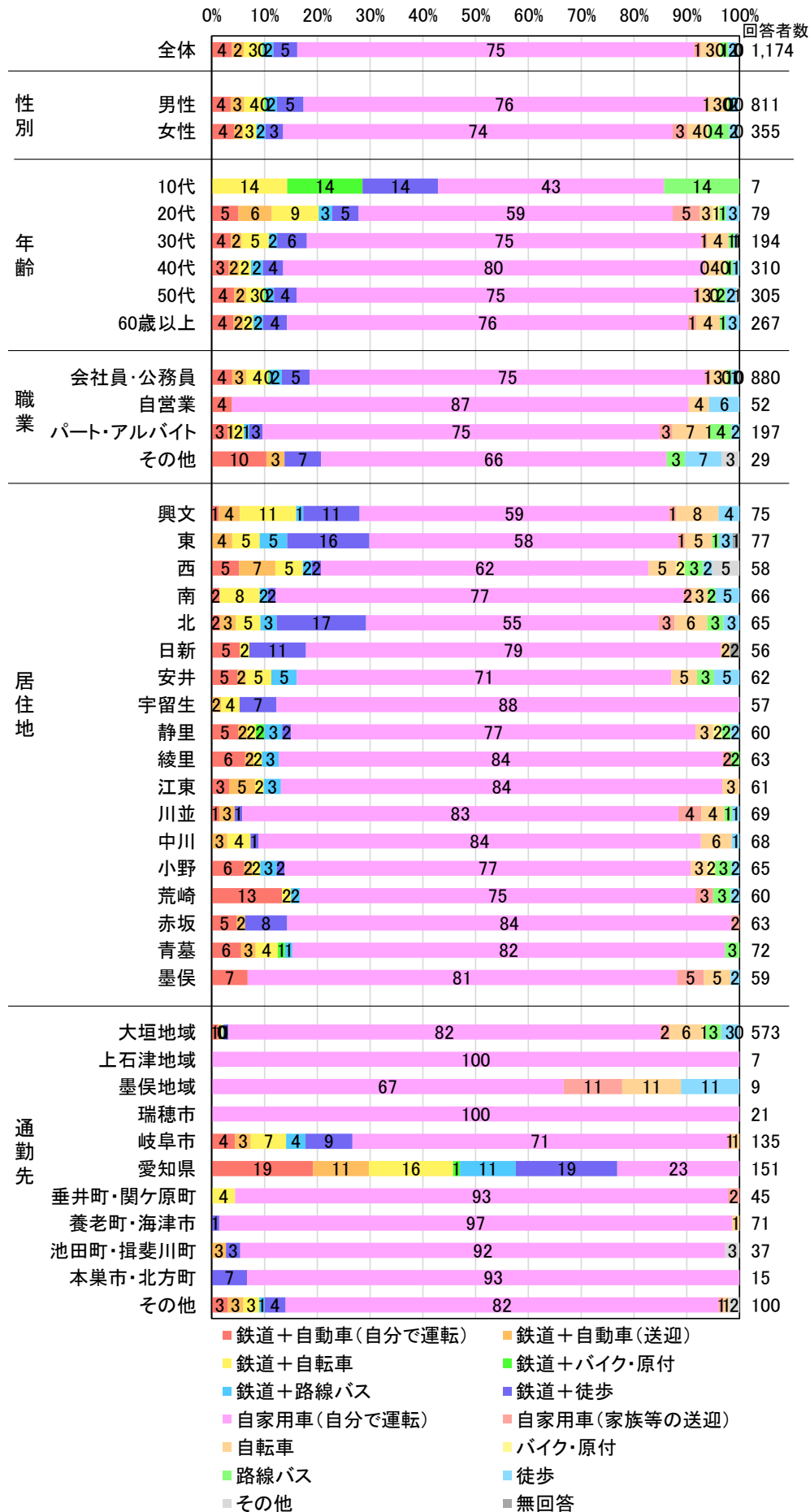
(3) 通勤先までの交通手段

5-1. 性別、年齢、職業、通勤先、通勤先までの交通手段をおしえてください。

通勤先までの 交通手段	鉄道を利用する人	■乗車する鉄道駅（ 駅） ■鉄道駅までの交通手段（あてはまるものすべてに○） 1. 自家用車（自分で運転） 2. 自家用車（家族等の送迎） 3. 自転車 4. バイク・原付 5. 路線バス 6. 徒歩 7. その他（ ）
	鉄道を利用しない人	■通勤先までの交通手段（あてはまるものすべてに○） 1. 自家用車（自分で運転） 2. 自家用車（家族等の送迎） 3. 自転車 4. バイク・原付 5. 路線バス 6. 高速バス 7. 徒歩 8. その他（ ）

- ・全体では、自家用車（自分で運転）が75%と最も高くなっている。
- ・居住地別にみると、東、北は鉄道+徒歩が16%、17%と、その他の地域と比較して高くなっている。
- ・荒崎は鉄道+自動車（自分で運転）が13%と、その他の地域と比較して高くなっている。
- ・通勤先別にみると、愛知県は自家用車（自分で運転）が23%と、その他の地域と比較して低くなっている。
- ・また、愛知県は鉄道+自動車（自分で運転）と鉄道+徒歩がそれぞれ19%、鉄道+自転車（自分で運転）が16%、鉄道+自動車（送迎）と鉄道+路線バスがそれぞれ11%と、その他の地域と比較して高くなっている。

図表 1-48 通勤先までの交通手段



図表 1－49 居住地別の乗車駅

		乗車駅															合計		
		J R 大垣	J R 美濃 赤坂	J R 荒尾	J R 穂積	J R 垂井	樽見線東大垣	養老線大垣	養老線東赤坂	養老線北大垣	養老線室	養老線西大垣	養老線美濃青柳	養老線友江	養老線大外羽	岐阜羽島		無回答	
全体		121	7	8	2	4	2	1	3	2	5	1	2	12	2	2	19	193	
居住地	興文	16									4						1	21	
	東	20					1	1									2	24	
	西	7											2				3	12	
	南	8																8	
	北	14								2	1			1			1	19	
	日新	1												9			1	11	
	安井	8															2	10	
	宇留生		1	6														7	
	静里	7										1				1		9	
	綾里	8															1	9	
	江東	4												2	2			8	
	川並	2															2	4	
	中川	6																6	
	小野	8					1											9	
	荒崎	5		1		1											3	10	
	赤坂	2	3						3									1	9
	青墓	4	3	1		3													11
	墨俣				2												1	1	4
無回答		1															1	2	

(4) 路線バスの利用意向

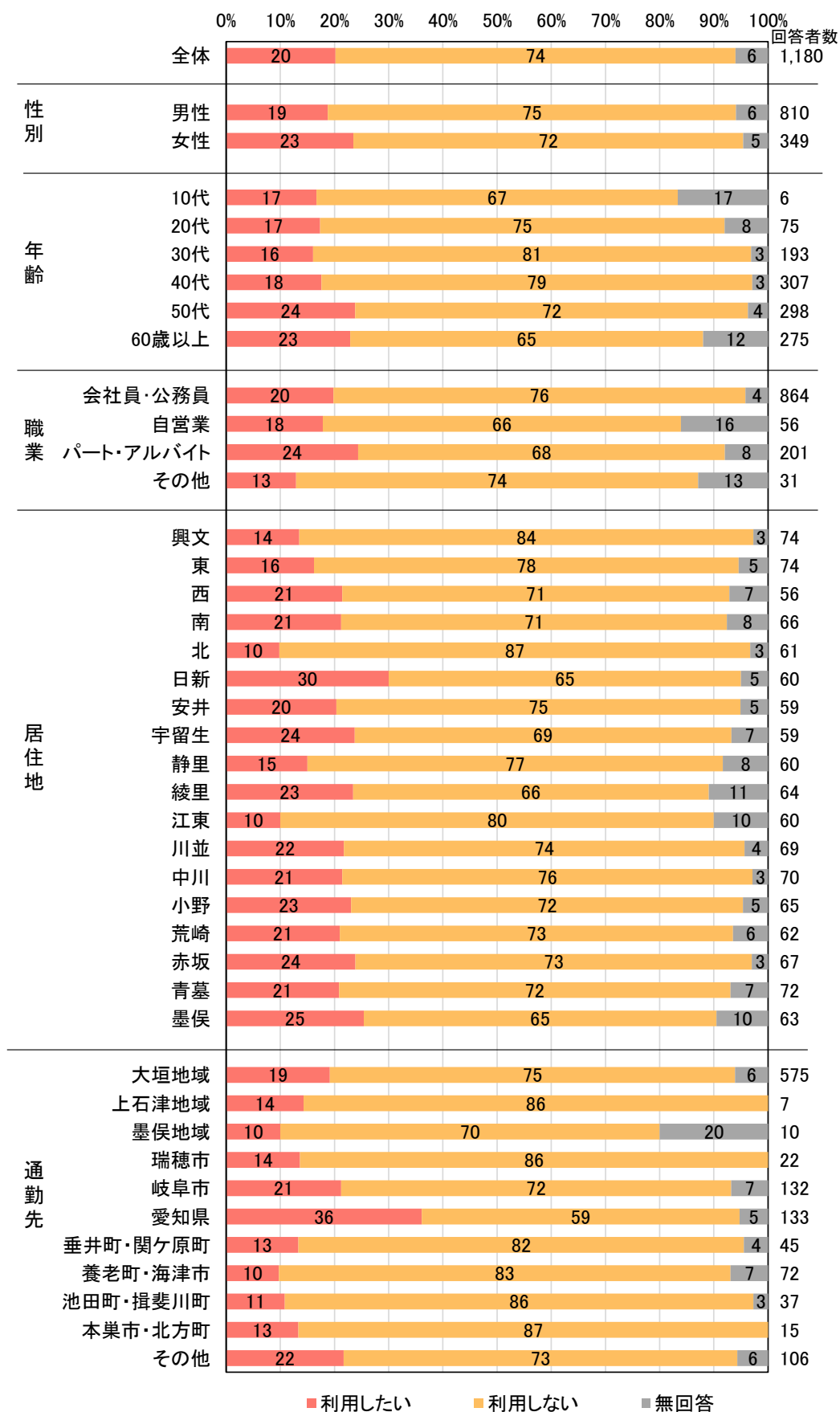
通勤で路線バスを利用していない人にお聞きします。

5-2. 路線バスのサービスが改善された場合、通勤で路線バスを利用したいと思いますか。(1つに○)

1. 利用したい 2. 利用しない

- ・全体では、「利用したい」が20%、「利用しない」が74%となっている。
- ・居住地別にみると、日新は「利用したい」が30%と、その他の地域と比較して高くなっている。北、江東は「利用したい」が10%と、その他の地域と比較して低くなっている。
- ・通勤先をみると、愛知県は「利用したい」が36%と、その他の通勤先と比較して高くなっている。

図表 1－50 路線バスの利用意向



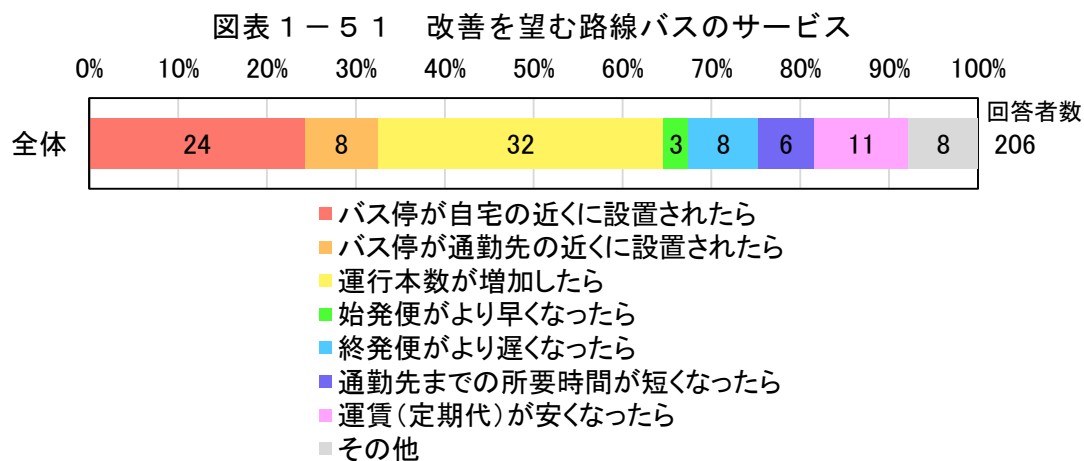
(5) 改善を望む路線バスのサービス

5-2で「利用したい」と答えた方

どのようなサービスが改善されたら利用しますか。(最も重要なもの1つに○)

1. バス停が自宅の近くに設置されたら
2. バス停が勤務先の近くに設置されたら
3. 運行本数が増加したら
4. 始発便がより早くなったら
5. 終発便がより遅くなったら
6. 通勤先までの所要時間が短くなったら
7. 運賃(定期代)が安くなったら
8. その他

- ・「運行本数が増加したら」が32%と最も高く、次いで「バス停が自宅の近くに設置されたら」が24%となっている。



(6) 路線バスを利用しない理由

5-2で「利用しない」と答えた方

利用しない理由をおしえてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤先または鉄道駅まで徒歩や自転車を利用できる距離だから
2. 家族等が送迎してくれるから
3. バスは時間がかかるから
4. バスは乗継が面倒だから
5. バスは時間通り運行しないから
6. 運賃(定期代)が高いから
7. その他

- ・全体では、「バスは時間がかかるから」が36%と最も高く、次いで「徒歩や自転車を利用できる距離だから」が24%、「運賃(定期代)が高いから」が20%となっている。
- ・居住地別にみると、興文、東、南、北は「徒歩や自転車を利用できる距離だから」が36%~47%と、その他の地域と比較して高くなっている。

図表 1-52 路線バスを利用しない理由

		徒歩 できる 距離 だから	家族 等が 送迎 してく	バス は時 間か かる	バス は乗 継が 面倒	バス は時 間通 り運 行し ない	運賃 (定期 代)が 高い	その他	回答者数
全体		24	6	36	13	13	20	29	871
性別	男性	25	6	35	12	12	19	28	610
	女性	23	6	39	16	16	21	32	251
年齢	10代	50		50	25	25	50	25	4
	20代	38	11	43	23	23	23	27	56
	30代	20	4	40	17	17	22	35	156
	40代	25	5	41	9	9	17	30	244
	50代	23	5	34	13	13	18	26	216
	60歳以上	25	9	27	12	12	21	27	179
職業	会社員・公務員	24	5	38	14	14	20	30	657
	自営業	24	8	19	5	5	8	35	37
	パート・アルバイト	28	8	33	12	12	20	24	136
	その他	26	4	30	13	13	26	22	23
居住地	興文	47	5	29	15	15	26	23	62
	東	38	10	34	14	14	16	26	58
	西	25	15	23	13	13	13	25	40
	南	36	4	17	6	6	4	32	47
	北	38	9	34	19	19	17	25	53
	日新	26	8	44	23	23	21	28	39
	安井	30	5	30	7	7	18	32	44
	宇留生	22	5	51	7	7	24	24	41
	静里	20	4	33	9	9	15	37	46
	綾里	10	7	31	12	12	19	29	42
	江東	13	4	33	15	15	31	35	48
	川並	24	16	31	18	18	14	29	51
	中川	13	4	45	17	17	17	23	53
	小野	15	2	47	15	15	19	40	47
	荒崎	18		38	11	11	33	33	45
	赤坂	14	2	39	12	12	24	31	49
	青墓	21	4	50	10	10	33	19	52
	墨俣	20	7	39	7	7	12	32	41
通勤先	大垣地域	28	7	37	12	12	17	27	430
	上石津地域			33			17	33	6
	墨俣地域	43	14	29	14	14		14	7
	瑞穂市	5	16	42			21	37	19
	岐阜市	24	4	29	16	16	22	33	95
	愛知県	38	6	23	18	18	18	24	78
	垂井町・関ヶ原町	24	3	49	19	19	24	32	37
	養老町・海津市	15	5	43	10	10	30	33	60
	池田町・揖斐川町	6	6	56	13	13	31	44	32
	本巣市・北方町	15		8				46	13
	その他	16	4	36	13	13	23	30	77

2. バス停利用者ヒアリング調査

2.1 調査概要

(1) 調査目的

- ・利用目的や利用頻度、満足度や要望、属性などを把握

(2) 調査方法

- ・市内の主要バス停に調査員を配置し、バス利用者に対してヒアリング調査を実施

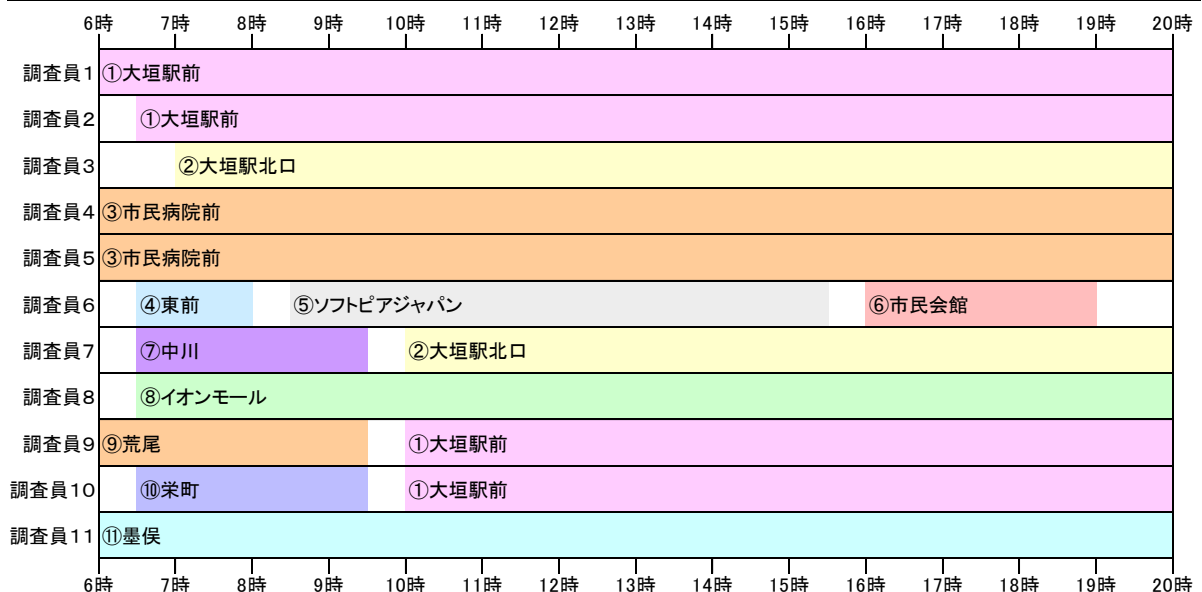
(3) 調査実施日

- ・令和元年9月17日（火）

(4) 調査実施バス停

図表2-1 調査実施バス停

バス停	調査時間帯	備考
①大垣駅前	調査員1 6:00～20:00 調査員2 6:30～20:00 調査員9 荒尾から移動～20:00 調査員10 栄町から移動～20:00	
②大垣駅北口	調査員3 7:00～20:00 調査員7 中川から移動～20:00	
③市民病院前	調査員4 6:00～20:00 調査員5 6:00～20:00	診療時間8:30～17:15
④東前	調査員6 6:45～8:00	
⑤ソフトピア	調査員6 東前から移動～16:20	
⑥市民会館	調査員6 ソフトピアから移動～20:00	
⑦中川	調査員7 6:45～9:34	
⑧イオンモール大垣	調査員8 6:45～20:00	食品売場8:00～23:00 専門店街9:00～21:00
⑨荒尾	調査員9 6:30～9:49	
⑩栄町	調査員10 6:45～9:35	
⑪墨俣	調査員11 6:00～20:00	



図表 2-2 調査実施バス停



(5) ヒアリング内容

- ・乗車バス停・降車バス停
- ・バスの利用目的
- ・定期券の利用状況
- ・行き・帰りの交通手段
- ・バスを利用した理由
- ・代替りの交通手段
- ・バスの利用頻度
- ・バスの改善要望
- ・居住地
- ・職業
- ・運転免許・自動車の保有状況
- ・運転免許証返納前のバスの利用状況
- ・その他意見・要望

(6) バス停別回収数

図表 2 - 3 バス停別回収数

バス停	回収数
①大垣駅前	186
②大垣駅北口	60
③市民病院前	110
④東前	4
⑤ソフトピアジャパン	19
⑥市民会館	3
⑦中川	15
⑧イオンモール大垣	21
⑨荒尾	12
⑩栄町	8
⑪墨俣	50
合計	488

2.2 調査結果

(1) 回答者の属性

①性別

・女性が68%、男性が32%となっている。

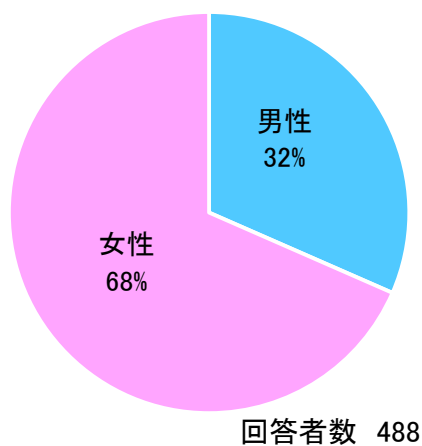
②年齢

・10歳代が19%と最も高く、次いで20歳代、70歳代が17%、30歳代が12%となっている。

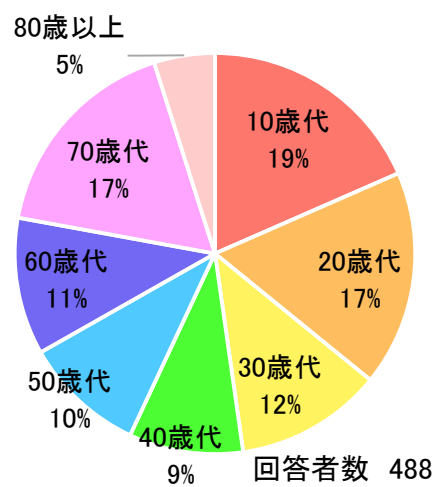
③職業

・就業者が38%と最も高く、次いで専業主婦が20%、高校生が16%となっている。

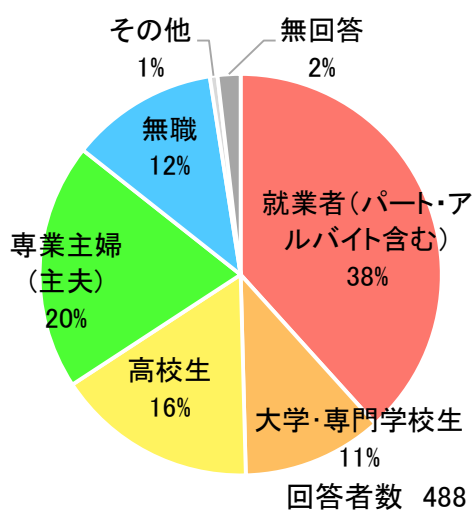
図表 2 - 4 性別



図表 2 - 5 年齢



図表 2 - 6 職業

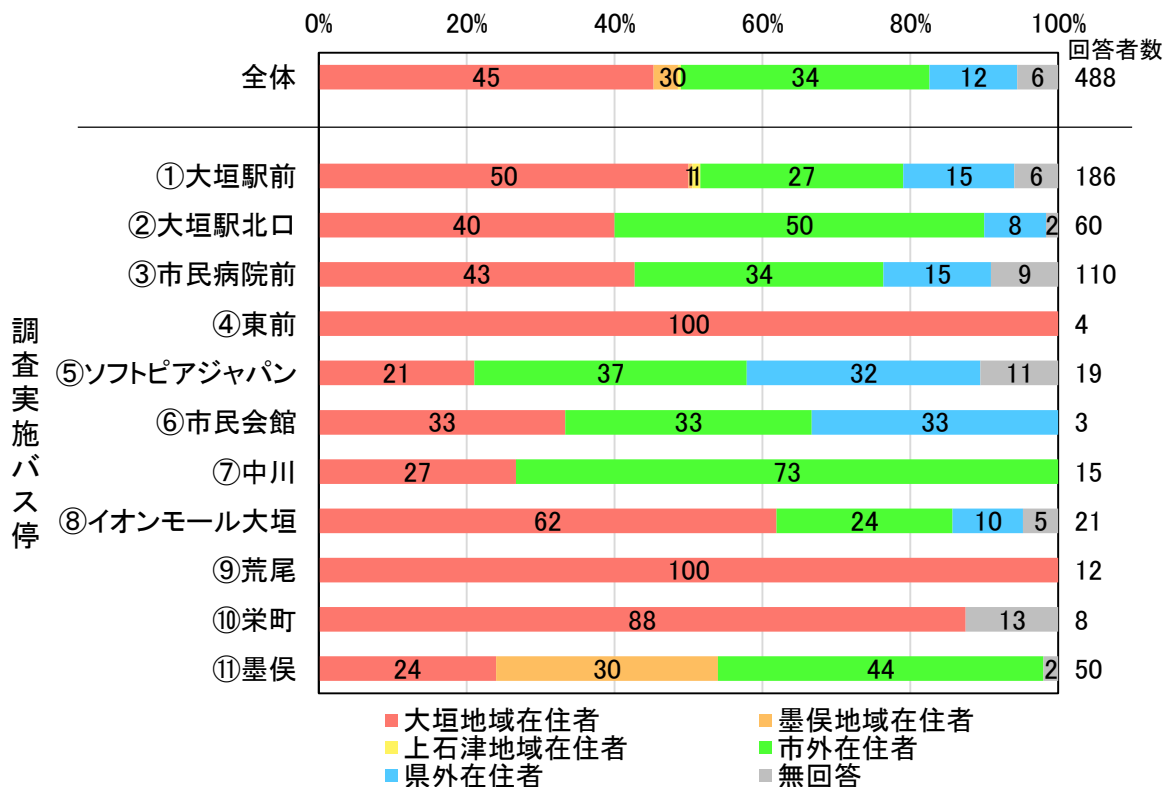


※性別、年齢は調査員による目視判断

④居住地

- ・全体では、大垣地域在住者が45%と最も高く、次いで市外在住者が34%、県外在住者が12%となっている。
- ・調査実施バス停別にみると、①大垣駅前、大垣地域在住者が50%、次いで市外在住者が27%となっており、具体的には岐阜市、愛知県がそれぞれ16人と多くなっている。
- ・②大垣駅北口は、市外在住者が50%、大垣地域在住者が40%となっており、具体的には中川が16人、大野町が10人と多くなっている。
- ・③市民病院前は、大垣地域在住者が43%、市外在住者が34%となっており、具体的には安井が12人、愛知県が10人と多くなっている。
- ・④東前は、大垣地域在住者が100%で、東が2人、安井が2人となっている。
- ・⑤ソフトピアジャパンは、市外在住者が37%、県外在住者が32%となっており、具体的には愛知県が6人、岐阜市が5人と多くなっている。
- ・⑥市民会館は、興文が1人、瑞穂市が1人、愛知県が1人となっている。
- ・⑦中川は、市外在住者が73%、大垣地域在住者が21%となっており、具体的には大野町が10人、中川が4人と多くなっている。
- ・⑧イオンモール大垣は、大垣地域在住者が62%、市外在住者が24%となっており、具体的には北、日新がそれぞれ4人と多くなっている。
- ・⑨荒尾は、大垣地域在住者が100%で、具体的には宇留生が10人と多くなっている。
- ・⑩栄町は、大垣地域在住者が88%で、具体的には綾里が7人と多くなっている。
- ・⑪墨俣は、市外在住者が44%、墨俣地域在住者が30%となっており、具体的には墨俣が15人、神戸町が7人となっている。

図表 2-7 居住地



図表 2－8 居住地（市内在住者）

	興文	東	西	南	北	日新	安井	宇留生	静里	綾里	江東	川並	中川	小野	荒崎	赤坂	青墓	墨俣	牧田	一之瀬	合計
全体	9	11	14	10	26	8	25	29	9	14	9	3	30	5	3	11	5	16	1	1	239
職業	就業者(パート・アルバイト含む)	5	3	3	5	9	2	13	12	3	4	1	6	3	1	4	1	8			86
	大学・専門学校生		1			1		4	1		2	3	7	1		1		1			22
	高校生	1	1	2	2	3		2	2	2			3			3		1	1	1	24
	専業主婦(主夫)	1	5	5	2	8	3	4	12	2	4	1	2	7	1	2	3	1	2		65
	無職	2	1	3	1	5	2	4	2	2	3	1		5				2	4		37
	その他			1			1														2
	無回答												2				1				3
免許保有状況	運転免許あり・クルマあり	3	2	2	1	5		13	10	1	2	2	8	2	1		1	5			58
	運転免許あり・クルマなし	2	4	1	2	5		3	2	1	1	1	2	6		2	1		2		35
	運転免許なし	3	4	9	5	13	4	8	16	6	8	4	1	15	1		10	1	9	1	119
	運転免許返納済み	1	1	2	1	3	4	1	1	1	2	1		1	2		2				23
	無回答				1					1	1						1				4
調査実施バス停	①大垣駅前	3	6	11	3	9	3	10	10	6	6	5	1	8	3	2	4	3	1	1	96
	②大垣駅北口					3		1	2				16				1	1			24
	③市民病院前	2		1	3	8	1	12	5	3	1	3	2		1	4	1				47
	④東前		2					2													4
	⑤ソフトピアジャパン		2									1		1							4
	⑥市民会館	1																			1
	⑦中川												4								4
	⑧イオンモール大垣	2		1	2	4	4														13
	⑨荒尾							10				1				1					12
	⑩栄町									7											7
	⑪墨俣	1	1	1	2	2		2			1			1		1		15			27

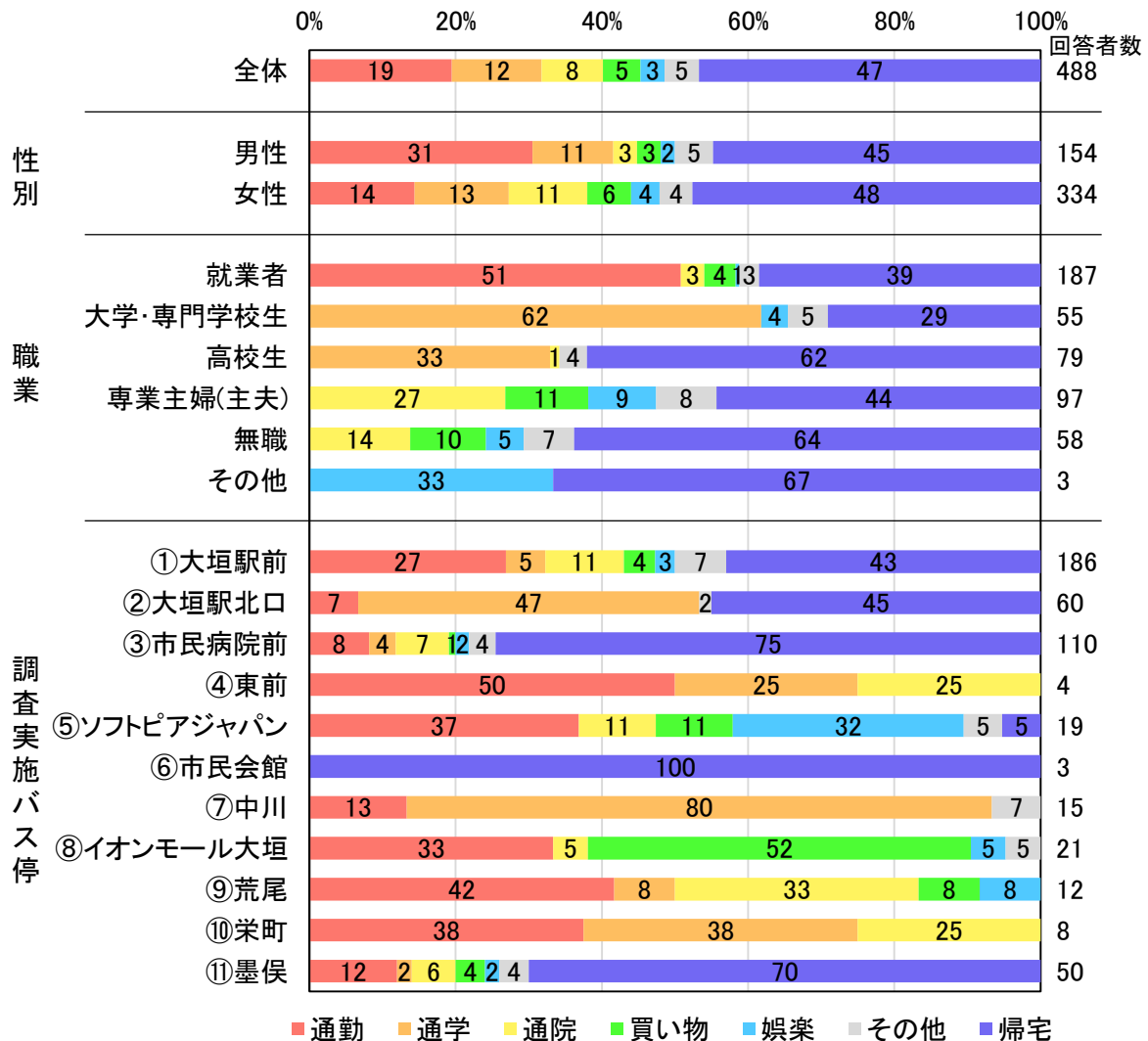
図表 2－9 居住地（市外在住者）

	岐阜市	大野町	神戸町	海津市	瑞穂市	垂井町	養老町	揖斐川町	安八町	各務原市	その他県内	愛知県	その他県外	無回答	合計
全体	34	29	14	14	13	12	9	8	7	6	18	38	20	27	249
職業	就業者(パート・アルバイト含む)	14	1	1	3	8	4	4		2	1	6	30	14	101
	大学・専門学校生	8			1	2	1		2		4	6	6	2	33
	高校生	2	21	8	6	1	2	3	3	3	2		1	3	55
	専業主婦(主夫)	9	2	3	3	1	5		2		1	1	2	3	32
	無職	1	5	1	1	1		2	1	1	3			5	21
	その他								1						1
	無回答			1										5	6
免許保有状況	運転免許あり・クルマあり	14		1	4	3	2	2	4		2	5	24	13	79
	運転免許あり・クルマなし	8	1			5	2	1		2	3	8	2	4	36
	運転免許なし	10	25	10	9	5	8	5	3	6	2	8	4	5	110
	運転免許返納済み	1	3	2	1			1	1	1		2			12
	無回答	1		1								2		8	12
調査実施バス停	①大垣駅前	16	2	2	6	2	6	2	1	5		9	16	12	90
	②大垣駅北口	8	10	1		1	1		1		4	4	4	1	36
	③市民病院前		4	4	5	8	3	5	3	2		3	10	6	63
	④東前														
	⑤ソフトピアジャパン	5								1	1	6		2	15
	⑥市民会館					1						1			2
	⑦中川	1	10												11
	⑧イオンモール大垣	3			1					1		1	1	1	8
	⑨荒尾														
	⑩栄町													1	1
	⑪墨俣	1	3	7	2	1	2	2	3		1			1	23

(2) 利用目的

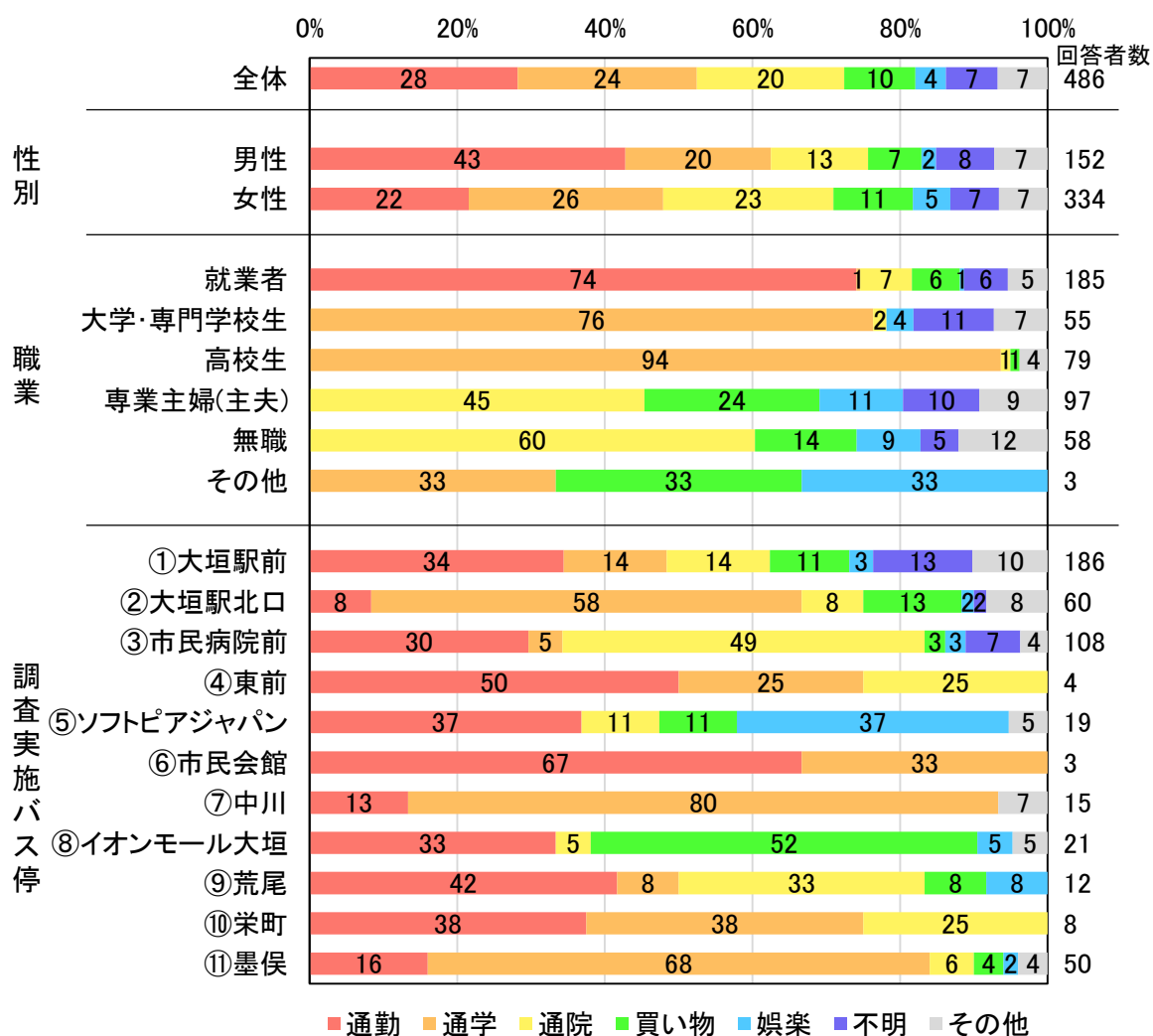
- ・帰宅が最も高く47%、次いで通勤が19%、通院が8%となっている。
- ・調査実施バス停別にみると、④東前、⑤ソフトピアジャパン、⑨荒尾、⑩栄町では、通勤の割合が最も高くなっている。
- ・②大垣駅北口、⑦中川、⑩栄町では、通学の割合が最も高くなっている。
- ・⑧イオンモール大垣では、買い物の割合が最も高くなっている。
- ・①大垣駅前には帰宅の割合が高くなっているが、帰宅と答えた80人のうち14人は通勤の帰り、14人は通学の帰り、12人が買い物の帰りであるとコメントがあった。
- ・③市民病院は帰宅の割合が高くなっているが、帰宅と答えた82人のうち45人は通院の帰り、23人は通勤の帰りであるとコメントがあった。
- ・⑥市民会館は帰宅の割合が高くなっているが、帰宅と答えた3人のうち2人は通勤の帰り、1人は通学の帰りであるとコメントがあった。
- ・⑪墨俣は帰宅の割合が高くなっているが、帰宅と答えた35人のうち33人は通学の帰り、2人は通勤の帰りであるとコメントがあった。

図表 2 - 1 0 利用目的



- ・その日に外出をした目的についての集計（帰宅中に行ったヒアリングでも、通勤先からの帰宅であれば通勤とする）をみると、通勤が28%と最も高く、次いで通学が24%、通院が20%となっている。

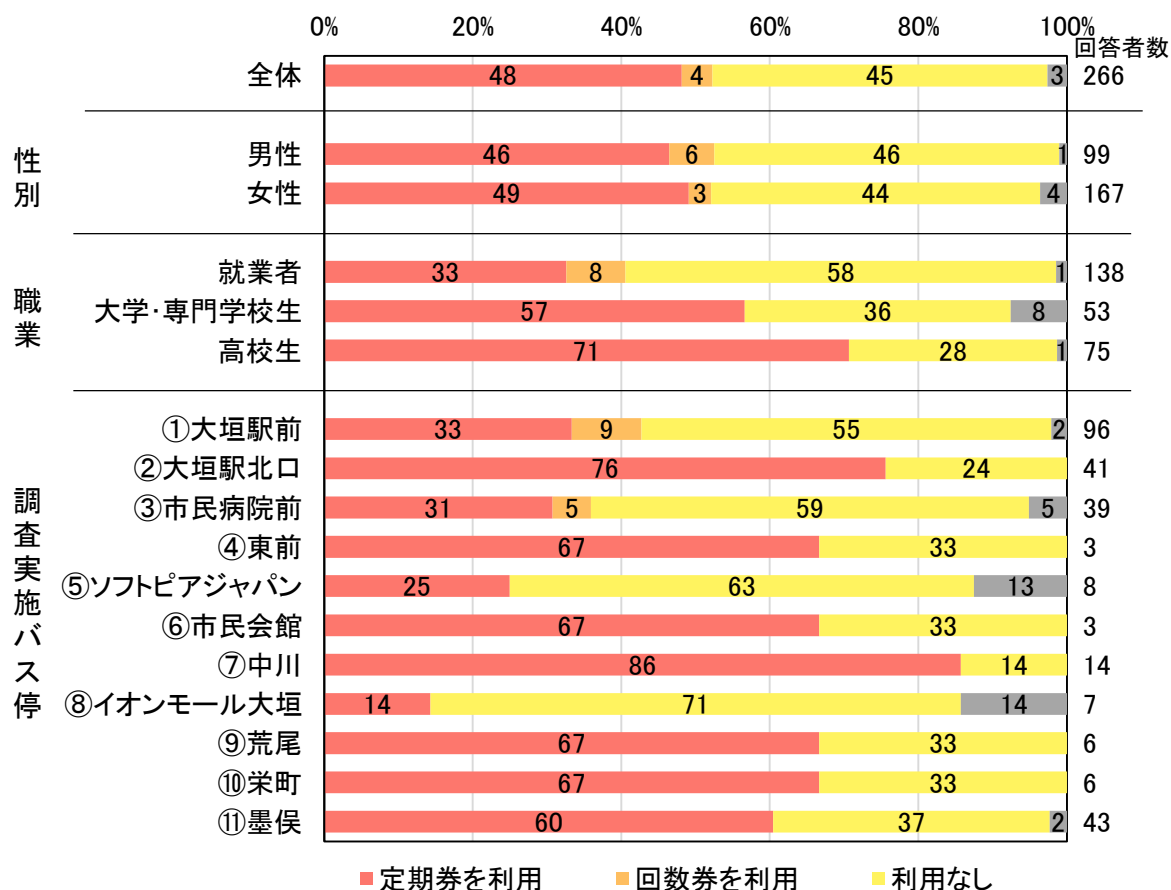
図表 2－1 1 利用目的（帰宅を振り分け）



(3) 定期券の利用

- ・通勤者、通学者に定期券の利用の有無を聞いたところ、定期券を利用している人は、就業者が33%、大学・専門学校生が57%、高校生は71%となっている。
- ・就業者は、回数券を利用している人が8%いる。

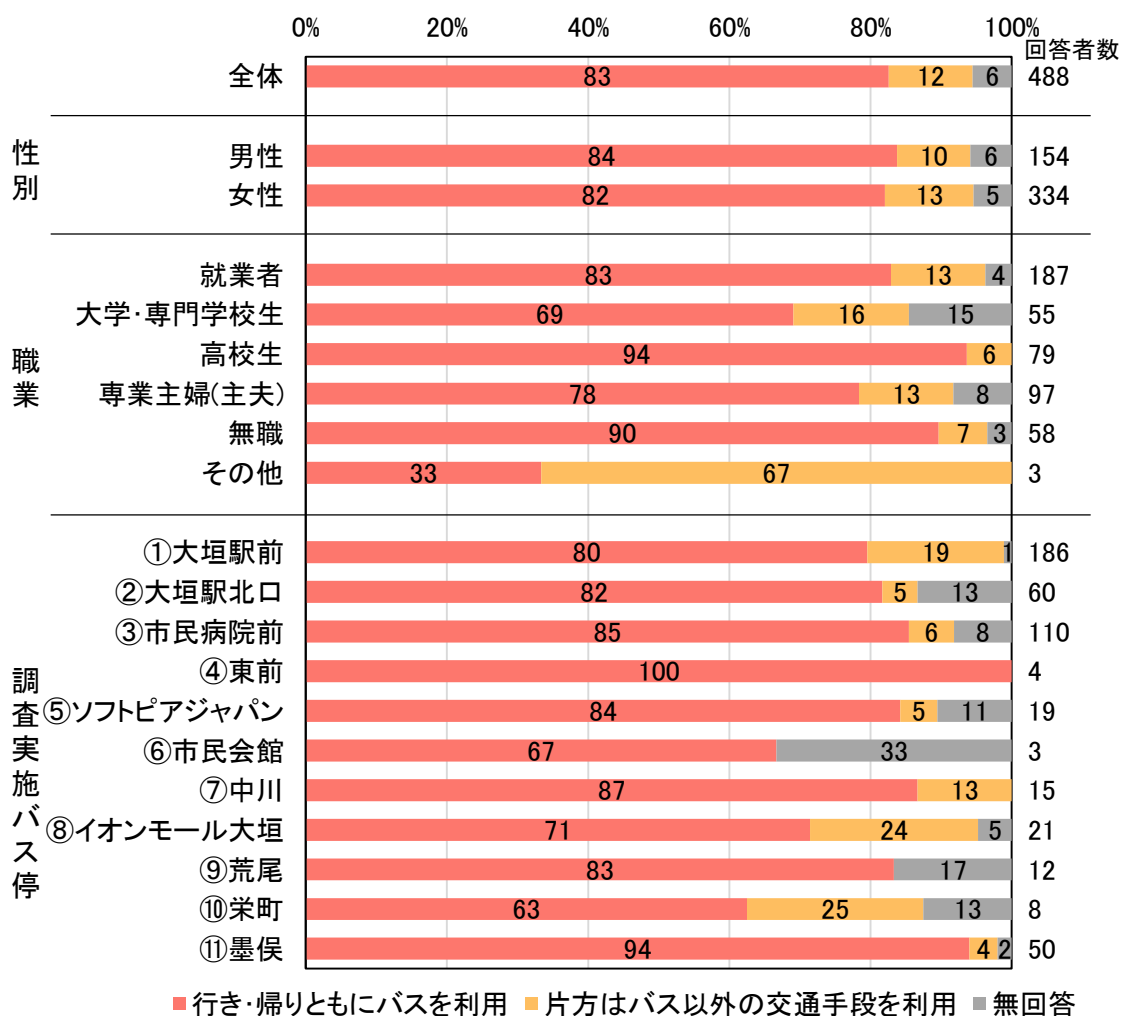
図表 2 - 1 2 定期券の利用



(4) 行き・帰りの交通手段

- ・行き・帰りともにバスを利用している人は83%、片方はバス以外の交通手段を利用している人は12%となっている。

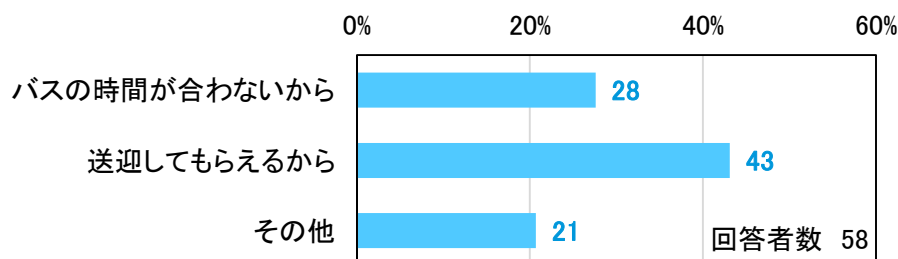
図表 2-13 行き・帰りの交通手段



(5) バスを利用しない理由

- ・片方はバス以外の交通手段を利用している人にバスを利用しない理由を聞いたところ、「送迎してもらえないから」が43%、「バスの時間が合わないから」が28%、その他が21%となっている。
- ・その他としては、「帰りにならないとわからない」、「疲れているから」、「帰りはバスが混雑する予想だから」などがあつた。

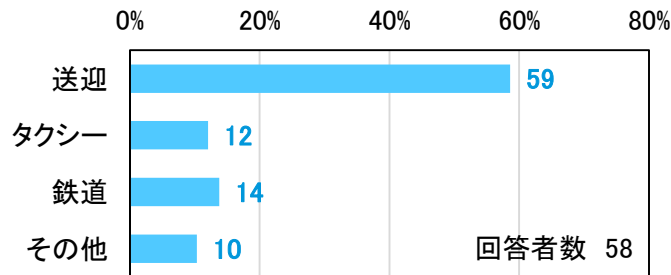
図表 2-14 バスを利用しない理由



(6) 代わりの交通手段

- ・片方はバス以外の交通手段を利用している人に代わりの交通手段を聞いたところ、送迎が59%、タクシーが12%、鉄道が14%、その他が10%となっている。
- ・その他としては、徒歩などがあつた。

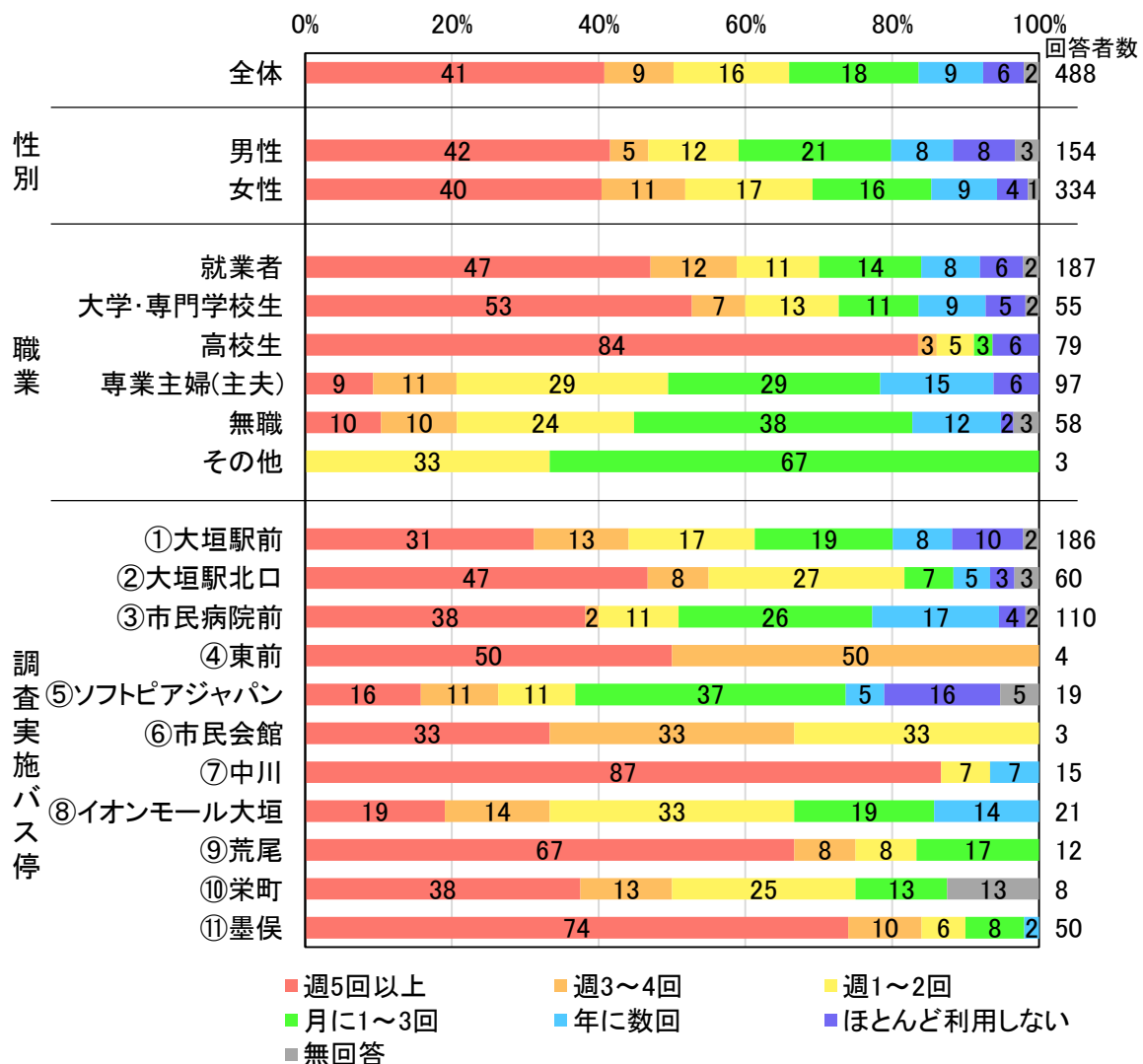
図表 2 - 1 5 代わりの交通手段



(7) 利用頻度

- ・全体では週5回以上が41%と最も高く、次いで月に1～3回が18%、週1～2回が16%となっている。
- ・職業別にみると、就業者、大学・専門学校生、高校生は週5回以上が最も高く、中でも高校生は週5回以上が84%と高くなっている。

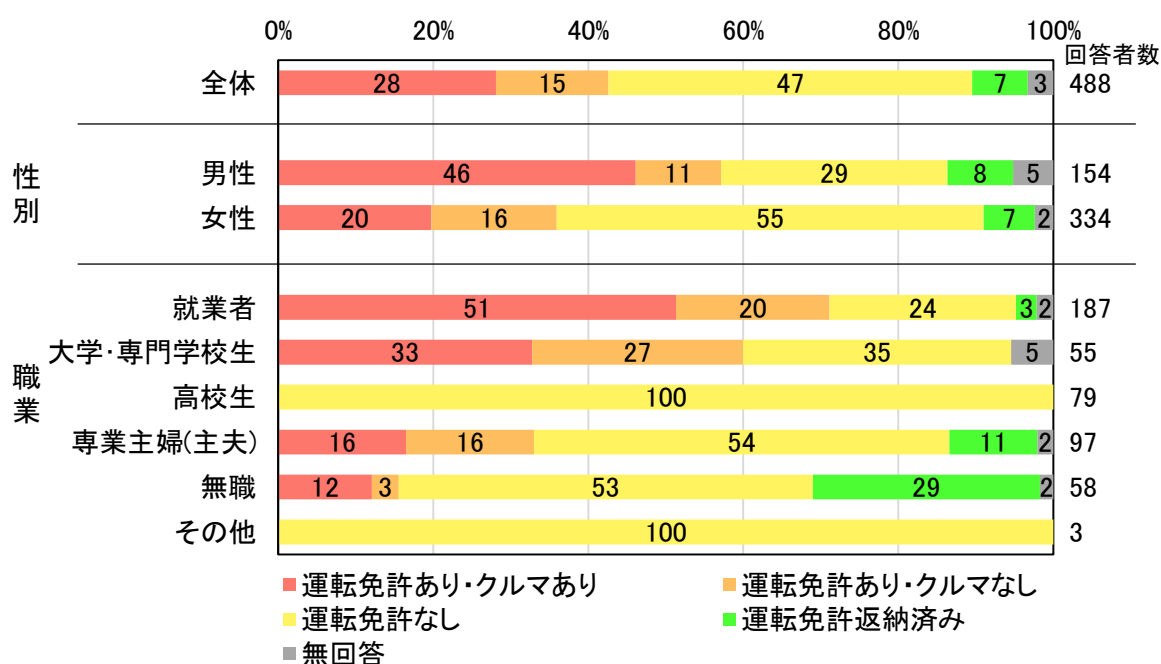
図表 2 - 1 6 利用頻度



(8) 運転免許・自動車の保有状況

- ・全体では、「運転免許なし」が47%と最も高く、次いで「運転免許あり・クルマあり」が28%、「運転免許あり・クルマなし」が15%、「運転免許返納済み」が7%となっている。

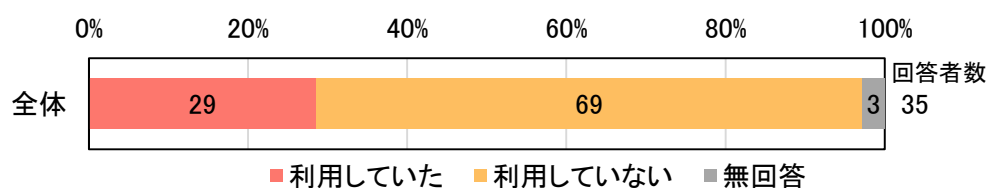
図表 2-17 運転免許・自動車の保有状況



(9) 運転免許返納前のバス利用状況

- ・運転免許返納済みと回答した方に、運転免許返納前のバス利用状況を聞いたところ、「利用していた」が29%、「利用していない」が69%となっている。

図表 2-18 運転免許・自動車の保有状況

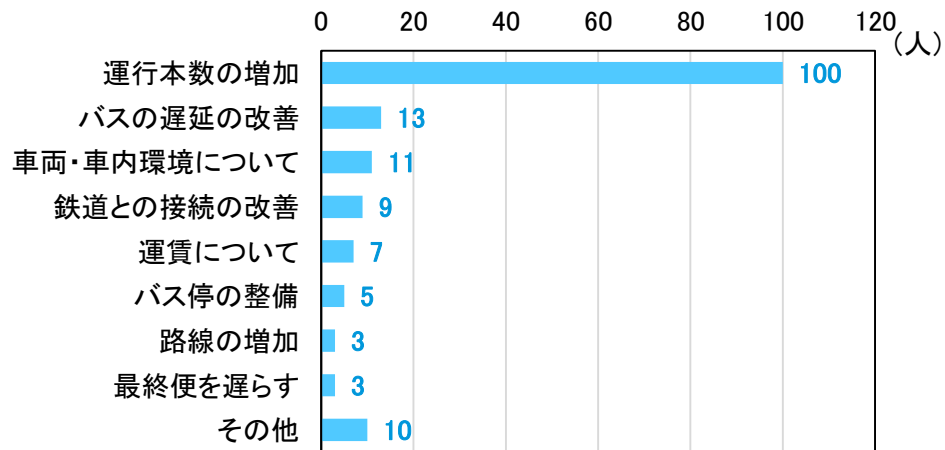


(10) 意見・改善要望

- ・意見・改善要望を聞いたところ、運行本数について意見した方が最も多くなっている。
- ・そのうち、具体的な時間帯についてコメントした人の意見をみると、昼の運行本数を増やしてほしいという意見が比較的多くなっている。

※朝8人、昼17人、夕4人、夜4人

図表 2－19 バスに対する意見・改善要望



3. 事業所アンケート調査

3.1 調査概要

(1) 調査目的

- ・市内事業所における従業員の通勤方法やバスの利用状況、従業者の自動車通勤対策について等の現状を把握するとともに、事業所として公共交通利用を推進していく上での路線バス改善要望等を把握

(2) 調査対象

- ・大垣市内の事業所99社

(3) 調査方法

- ・郵送配布、郵送回収

(4) 調査期間

- ・配布：令和元年 9月 5日（木）
- ・締切：令和元年 9月20日（金）

(5) 配布回収状況

- ・配布数：99票
- ・回収数：70票
- ・回収率：70.7%

3.2 調査結果

(1) 企業の基本情報

①主な形態

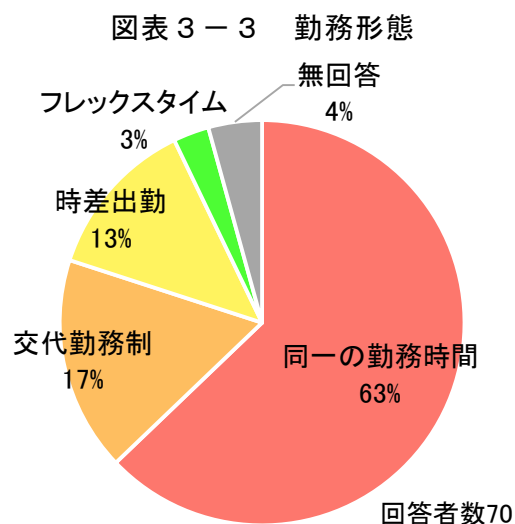
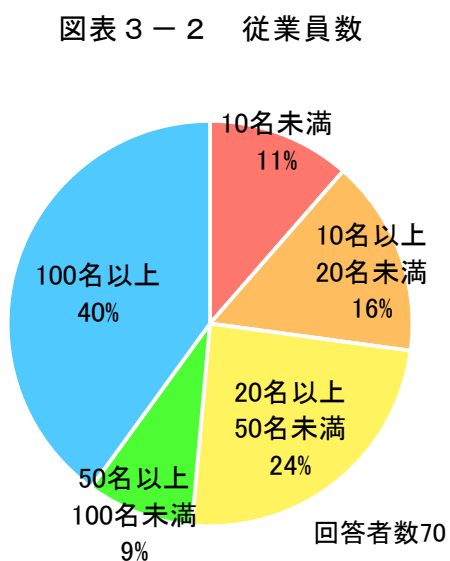
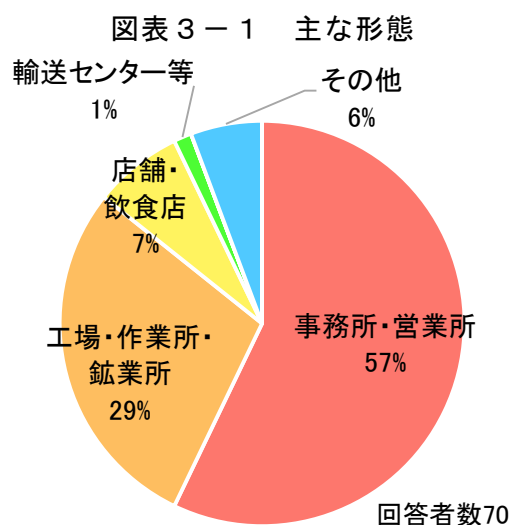
- ・事務所・営業所が57%と最も高く、次いで工場・作業所・鉱業所が29%、店舗・飲食店は7%となっている。

②従業員数

- ・100名以上が40%と最も高く、20名以上50名未満が24%、10名以上20名未満が16%となっている。

③勤務形態

- ・同一の勤務時間が62%と最も高く、次いで交代勤務制が17%、時差出勤が13%となっている。



④駅までの所要時間

- ・11分～20分が29%と最も高く、次いで30分以上が16%となっている。

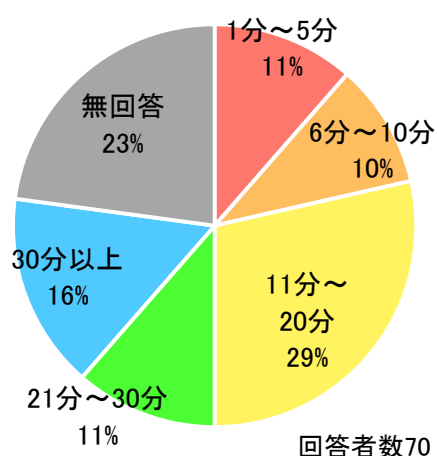
⑤バス停までの所要時間

- ・1分～5分が65%と最も高く、次いで6分から10分が14%となっている。

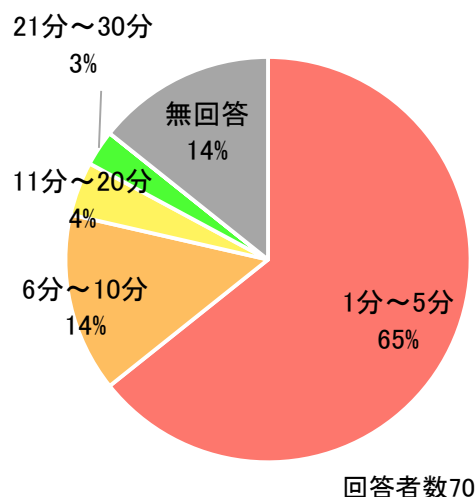
⑥所在地

- ・興文が19%と最も高く、次いで安井が13%、南が11%となっている。

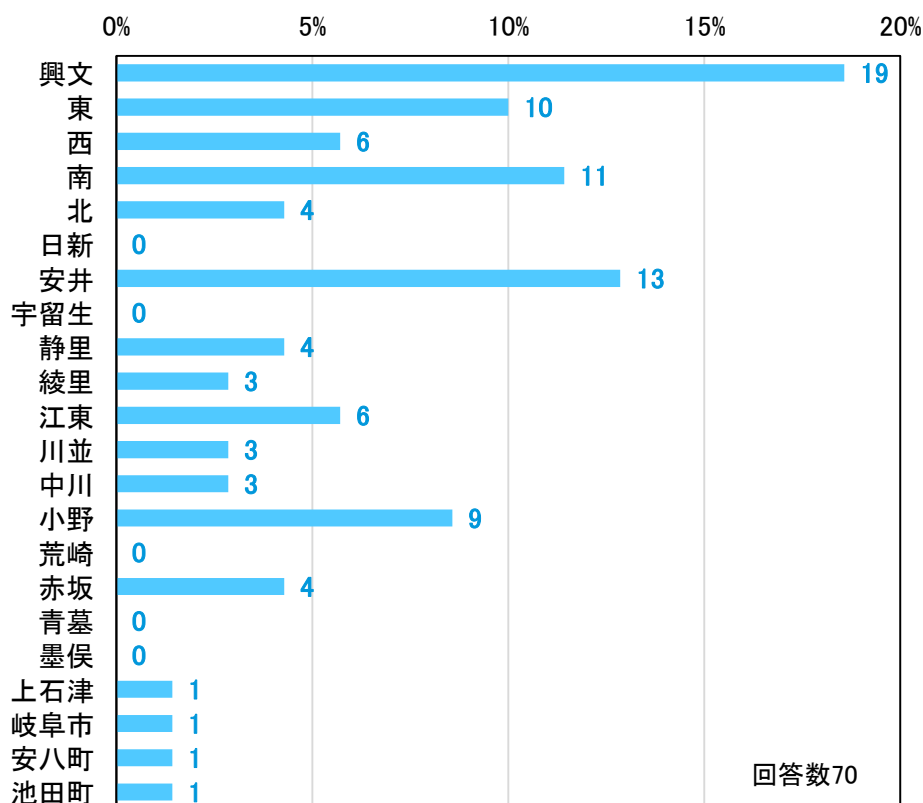
図表 3－4 駅までの所要時間



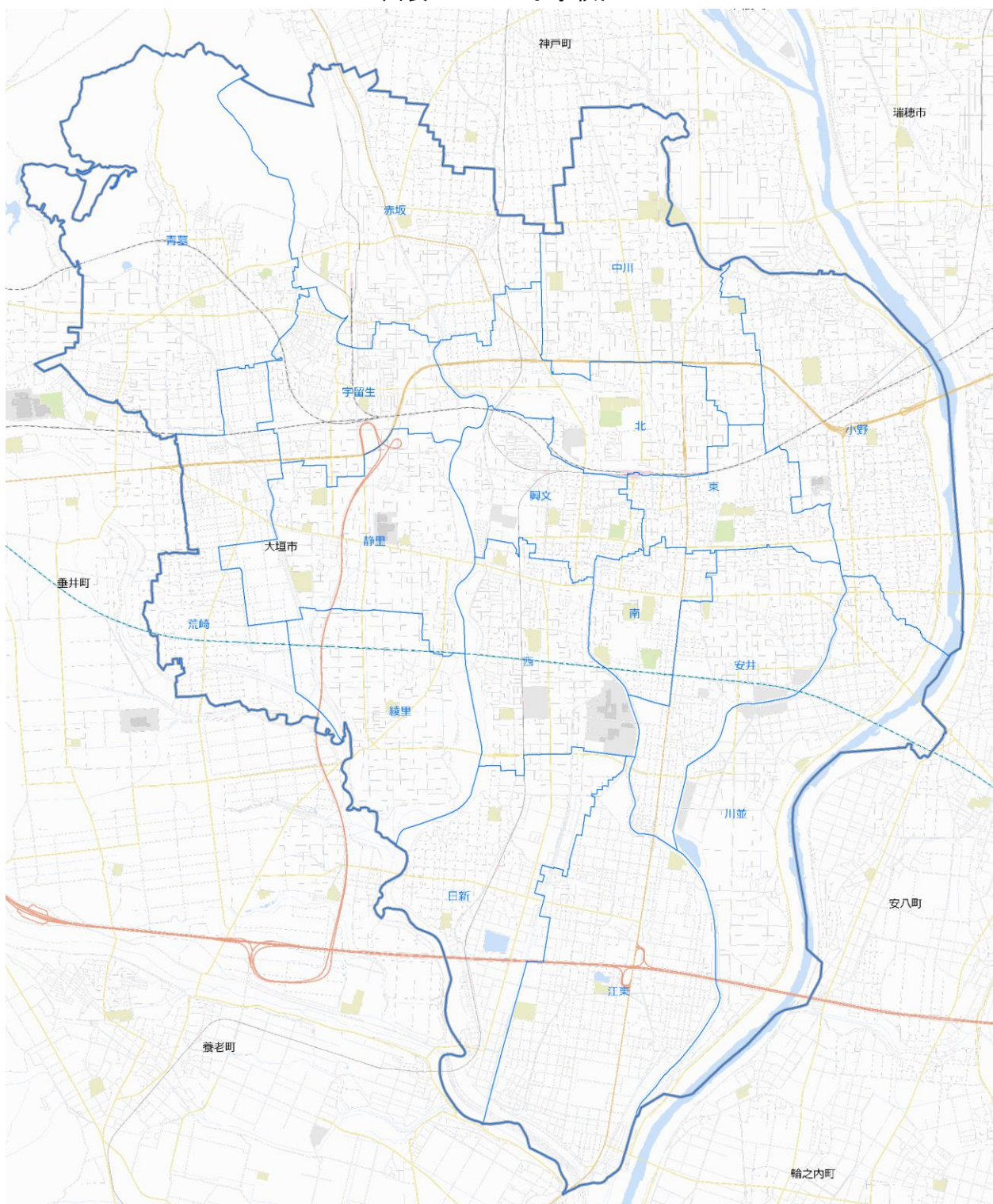
図表 3－5 バス停までの所要時間



図表 3－6 所在地



図表 3－7 小学校区

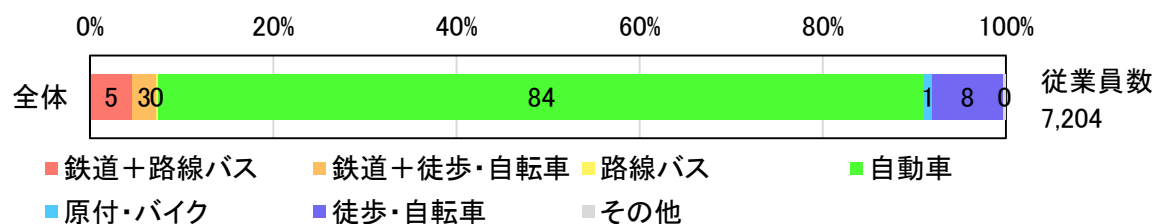


(2) 従業員の通勤時の交通手段

2-1. 従業員の方の通勤時の交通手段について、それぞれおおよその人数をご記入ください。

- ・自動車が一番高く84%となっており、次いで、徒歩・自転車が8%、鉄道+路線バスが5%となっている。
- ・事業所独自の送迎バスを運行している事業所はなかった。

図表3-8 従業員の通勤時の交通手段

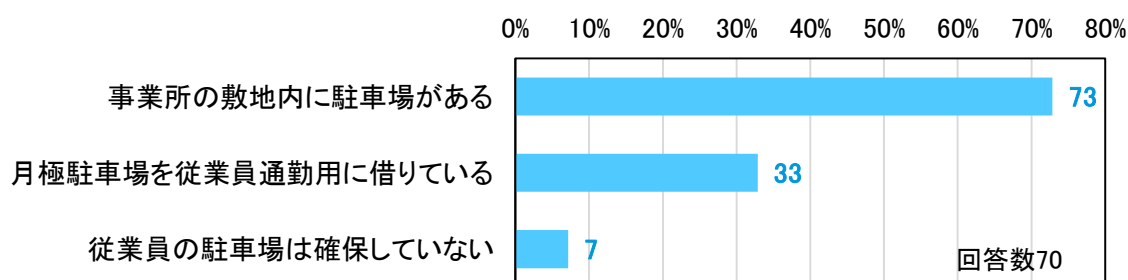


(3) 従業員駐車場の場所

2-3. 従業員駐車場の場所についておしえてください。
 (あてはまるものすべてに○と、収容台数等を記入)
 1. 事業所の敷地内に駐車場がある
 2. 月極駐車場を従業員通勤用に借りている
 3. 従業員の駐車場は確保していない

- ・「事業所の敷地内に駐車場がある」が73%と最も高く、次いで「月極駐車場を従業員通勤用に借りている」が33%、「従業員の駐車場は確保していない」が7%となっている。

図表3-9 従業員駐車場の場所



(4) 通勤手当の支給基準

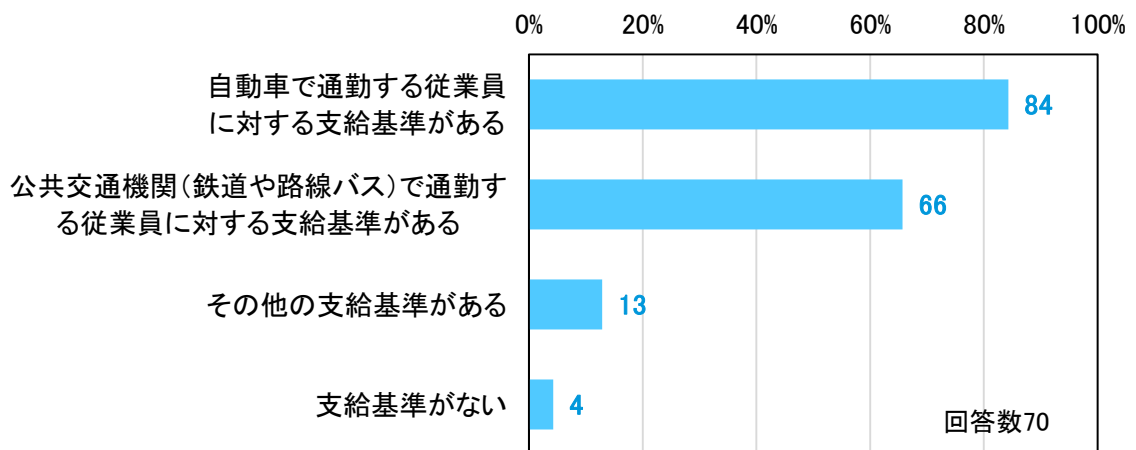
2-4. 通勤手当の支給基準についておしえてください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 自動車通勤する従業員に対する支給基準がある
2. 公共交通機関(鉄道や路線バス)で通勤する従業員に対する支給基準がある
3. その他の支給基準がある
4. 支給基準がない

- ・「自動車通勤する従業員に対する支給基準がある」が84%と最も多く、次いで「公共交通機関(鉄道や路線バス)で通勤する従業員に対する支給基準がある」が66%となっている。
- ・その他の支給基準としては、自転車通勤する従業員に対する支給基準があった。

図表3-10 通勤手当の支給基準



(5) マイカー通勤の取り扱い

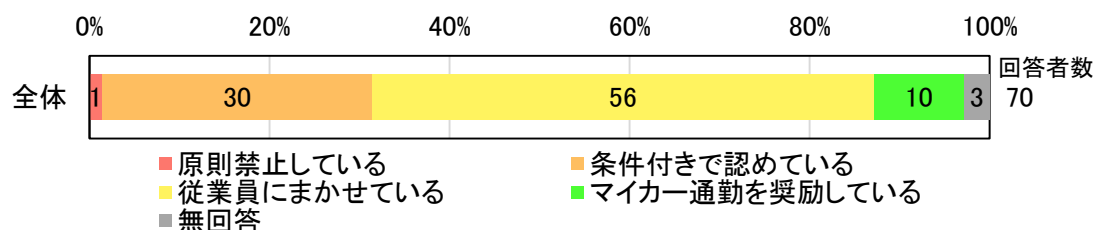
3-1. マイカー通勤についておしえてください。(1つに○)

(あてはまるものすべてに○と、収容台数等を記入)

1. 原則禁止している
2. 条件付きで認めている
3. 従業員にまかせている
4. マイカー通勤を奨励している

- ・「従業員にまかせている」が56%と最も高く、次いで「条件付きで認めている」が30%、「マイカー通勤を奨励している」が10%となっている。

図表3-11 マイカー通勤の取り扱い



(6) マイカー通勤を認めている理由

3-2は、3-1で「2. 条件付きで認めている」または「3. 従業員にまかせている」または「4. マイカー通勤を奨励している」を選んだ方にお聞きします

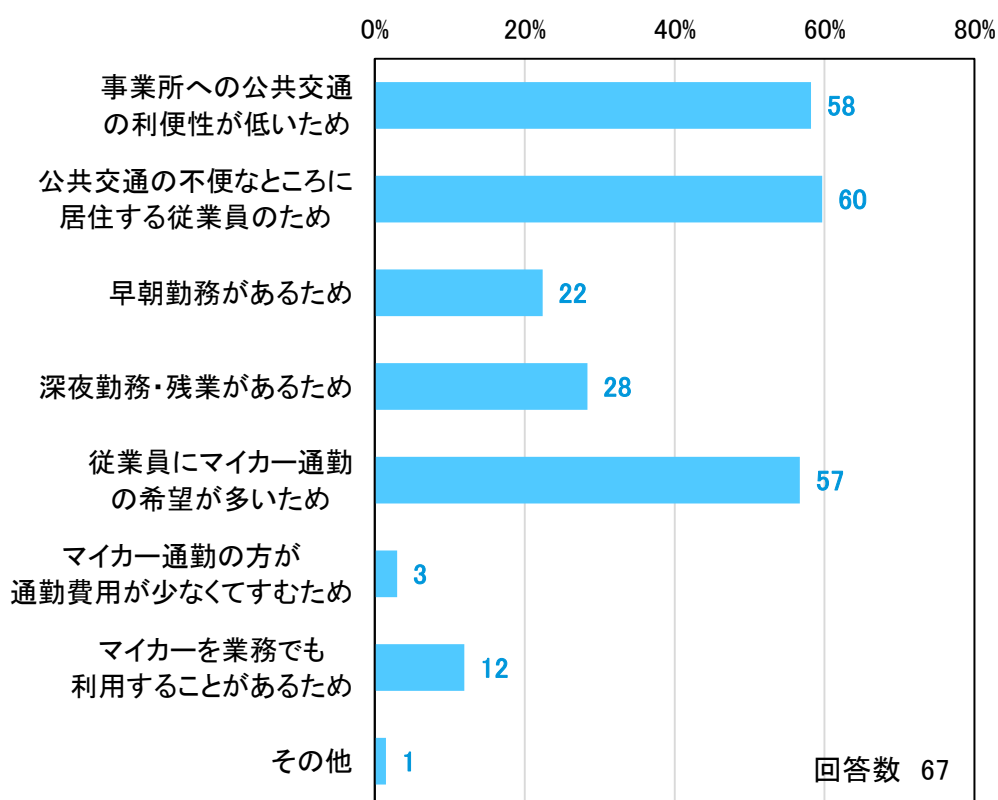
3-2. マイカー通勤を認めている理由はなんですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 事業所への公共交通の利便性が低いため
2. 公共交通の不便なところに居住する従業員のため
3. 早朝勤務があるため
4. 深夜勤務・残業があるため
5. 従業員にマイカー通勤の希望が多いため
6. マイカー通勤の方が通勤費用が少なくてすむため
7. マイカーを業務でも利用することがあるため
8. その他

- ・「公共交通の不便なところに居住する従業員のため」が60%と最も高く、次いで「事業所への公共交通の利便性が低いため」が58%、「従業員にマイカー通勤の希望が多いため」が57%となっている。

図表 3-12 マイカー通勤を認めている理由



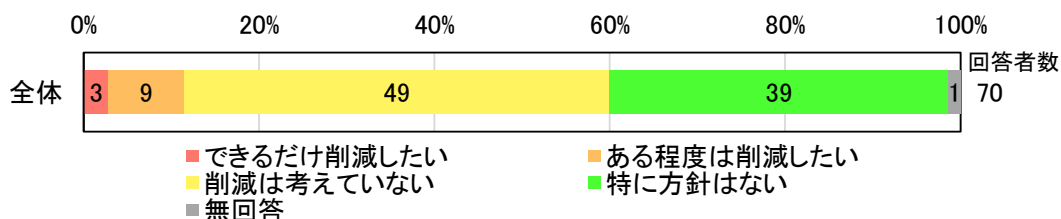
(7) 今後のマイカー通勤の方針

3-3. 今後のマイカー通勤に対する方針についておしえてください。(1つに○)

1. できるだけマイカー通勤を削減したい
2. ある程度はマイカー通勤を削減したい
3. マイカー通勤の削減は考えていない
4. 特に方針はない

- ・「マイカー通勤の削減は考えていない」が49%と最も高く、次いで「特に方針はない」が39%、「ある程度はマイカー通勤を削減したい」が9%となっている。

図表 3-13 今後のマイカー通勤の方針



(8) マイカー通勤を削減したい理由

3-4は、3-3で「1. できるだけマイカー通勤を削減したい」または「2. ある程度はマイカー通勤を削減したい」を選んだ方にお聞きします。

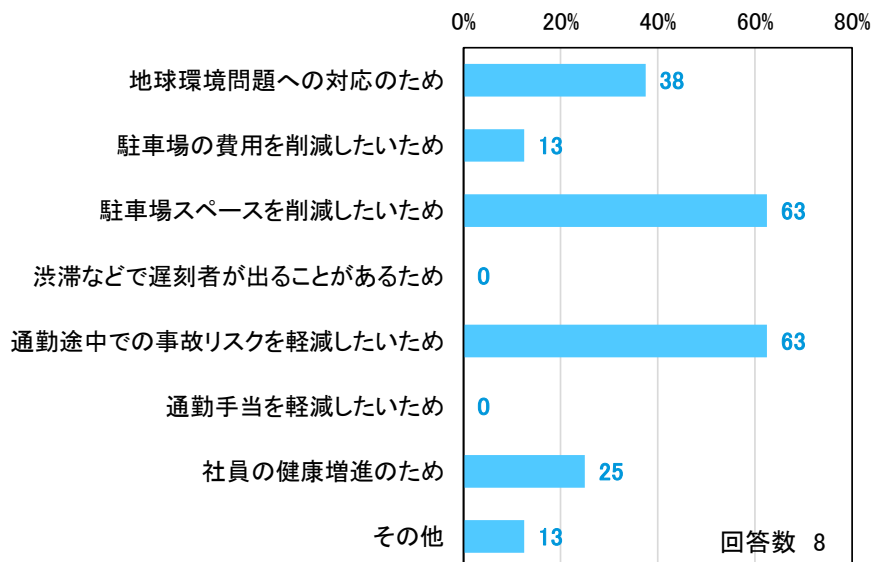
3-4. マイカー通勤を削減したい理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 地球環境問題への対応のため
2. 駐車場の費用を削減したいため
3. 駐車場スペースを削減したいため
4. 渋滞などで遅刻者が出ることがあるため
5. 通勤途中での事故リスクを軽減したいため
6. 通勤手当を軽減したいため
7. 社員の健康増進のため
8. その他

- ・「駐車場スペースを削減したいため」「通勤途中での事故リスクを軽減したいため」が63%と最も高く、次いで「地球環境問題への対応のため」が38%、「社員の健康増進のため」が25%となっている。

図表 3-14 マイカー通勤を削減したい理由



(9) マイカー通勤削減のために有効な通勤交通対策

3-5. マイカー通勤を削減するために有効と考えられる通勤交通対策はなんだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

(行政や交通事業者が実施する対策)

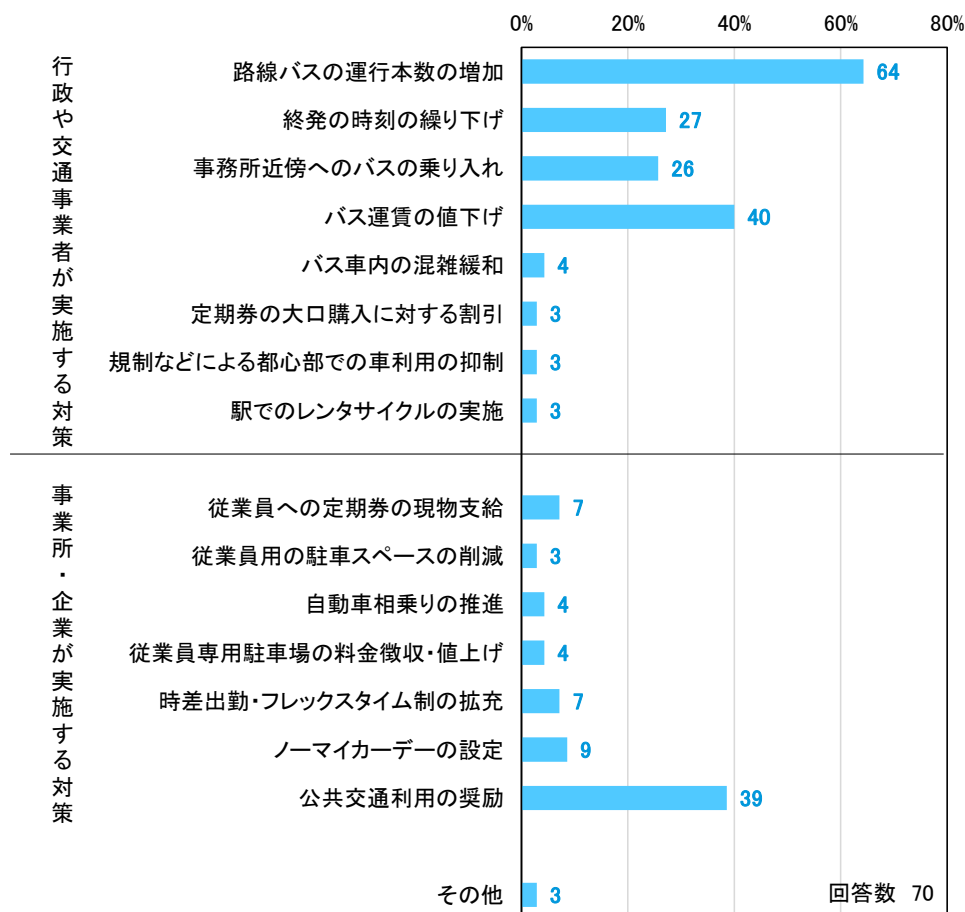
1. 路線バスの運行本数の増加
2. 終発の時刻の繰り下げ
3. 事務所近傍へのバスの乗り入れ
4. バス運賃の値下げ
5. バス車内の混雑緩和
6. 定期券の大口購入に対する割引
7. 規制などによる都心部での車利用の抑制
8. 駅でのレンタサイクルの実施

(事業所・企業が実施する対策)

9. 従業員への定期券の現物支給
10. 従業員用の駐車スペースの削減
11. 自動車相乗りの推進
12. 従業員専用駐車場の料金徴収・値上げ
13. 時差出勤・フレックスタイム制の拡充
14. ノーマイカーデーの設定
15. 公共交通利用の奨励
16. その他

- ・行政や交通事業者が実施する対策としては、「路線バスの運行本数の増加」が64%と最も高く、次いで「バス運賃の値下げ」が40%となっている。
- ・事業所・企業が実施する対策としては、「公共交通利用の奨励」が39%となっている。

図表3-15 マイカー通勤削減のために有効な通勤交通対策



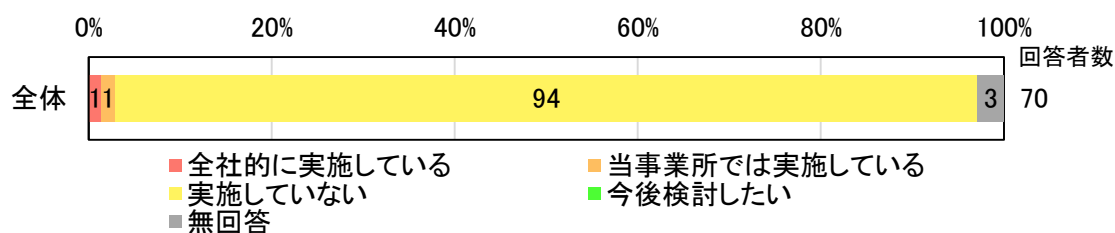
(10) ノーマイカーデーの設定

3-6. ノーマイカーデーを設定していますか。(1つに○)

1. 全社的に実施している
2. 当事業所では実施している
3. 実施していない
4. 現在は実施していないが今後検討したい

- ・「実施していない」が94%と最も高くなっており、次いで「全社的に実施している」「当事業所では実施している」が1%となっている。
- ・「現在は実施していないが今後検討したい」という回答をした事業所はなかった。

図表 3-16 ノーマイカーデーの設定



(11) 公共交通利用の奨励

3-7. 公共交通の利用を奨励していますか。(1つに○)

1. 全社的に実施している
2. 当事業所では実施している
3. 実施していない
4. 現在は実施していないが今後検討したい

- ・「実施していない」が84%と最も高く、次いで「現在は実施していないが今後検討したい」が9%、「全社的に実施している」が4%となっている。

図表 3-17 公共交通利用の奨励

